

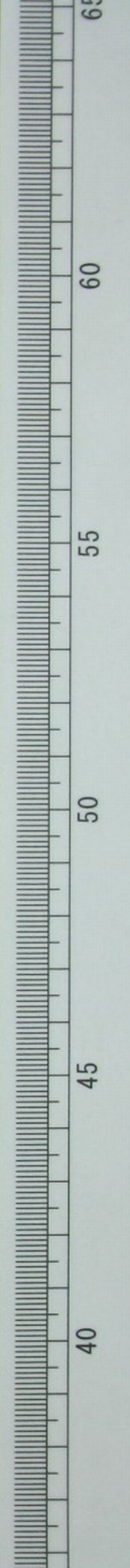
新撰雜歌

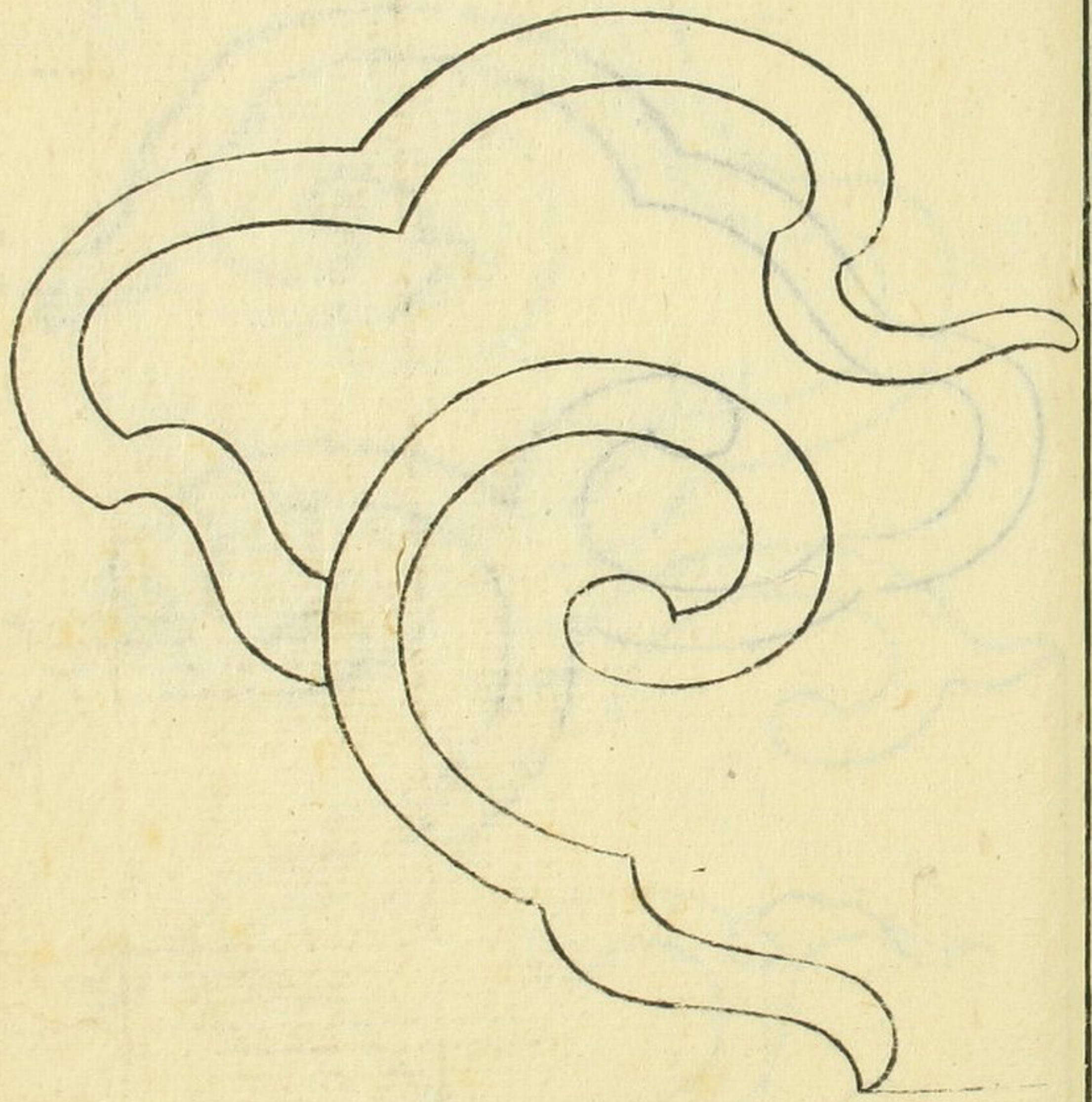
總括

五

別置

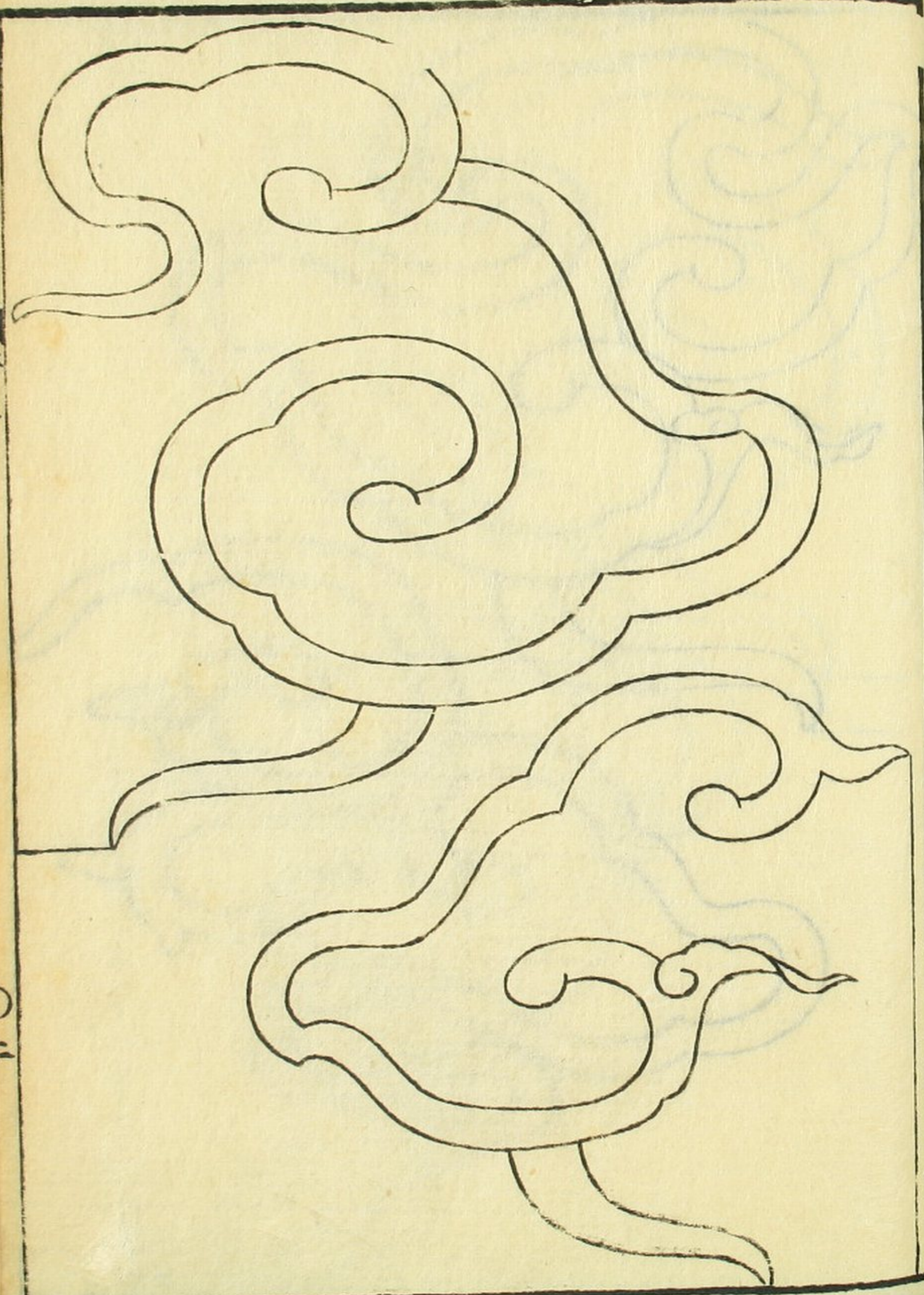
多
444
5

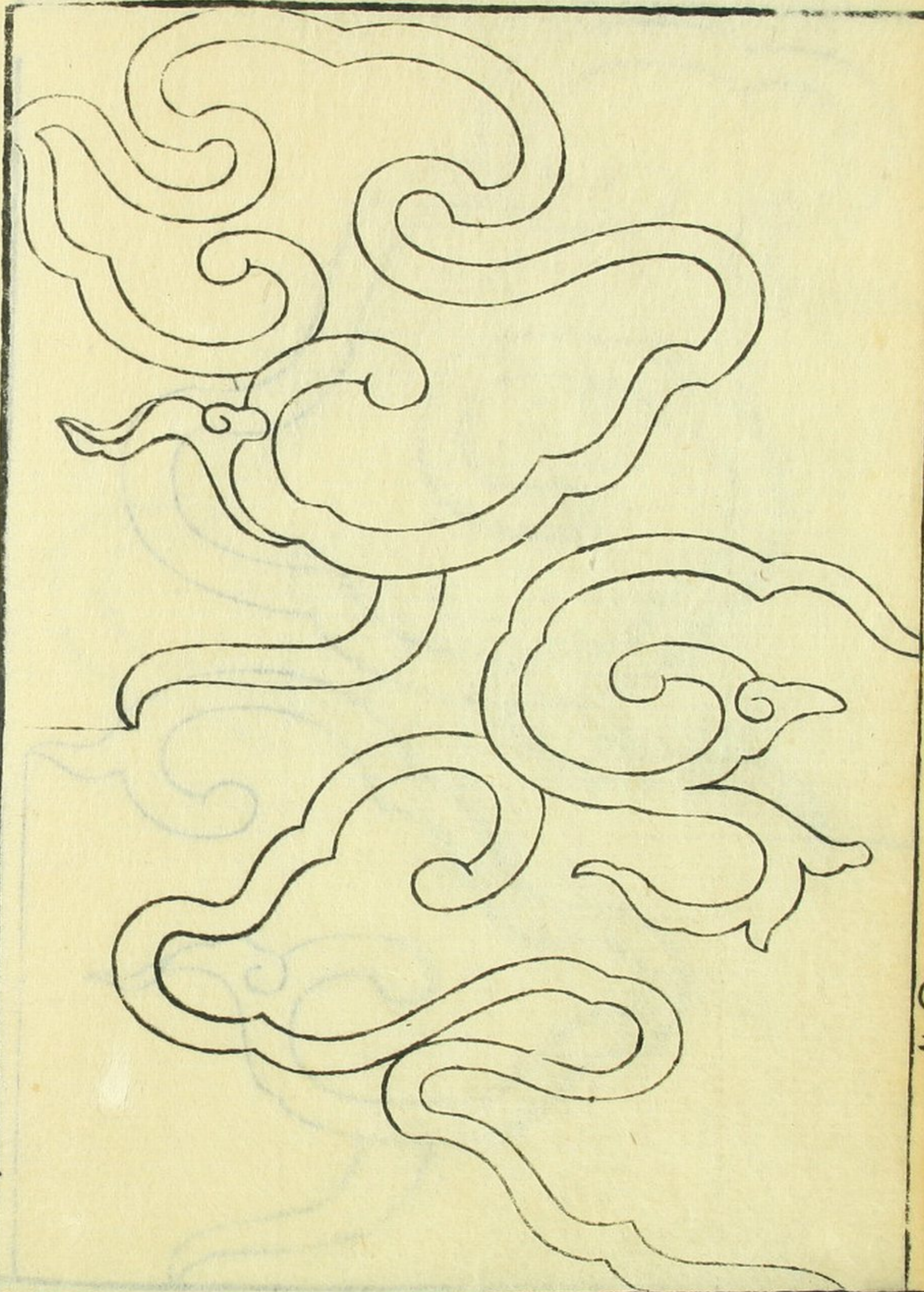
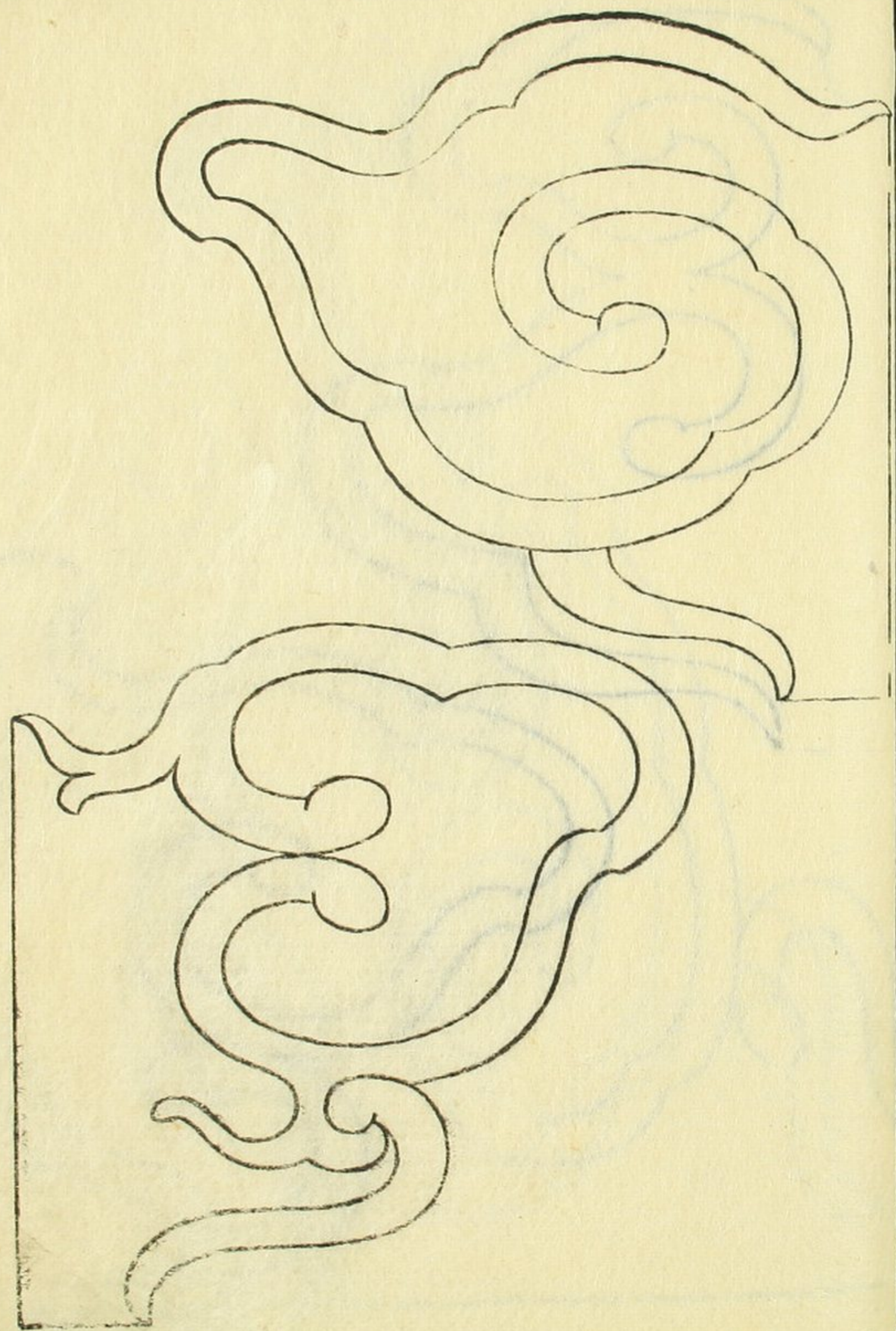


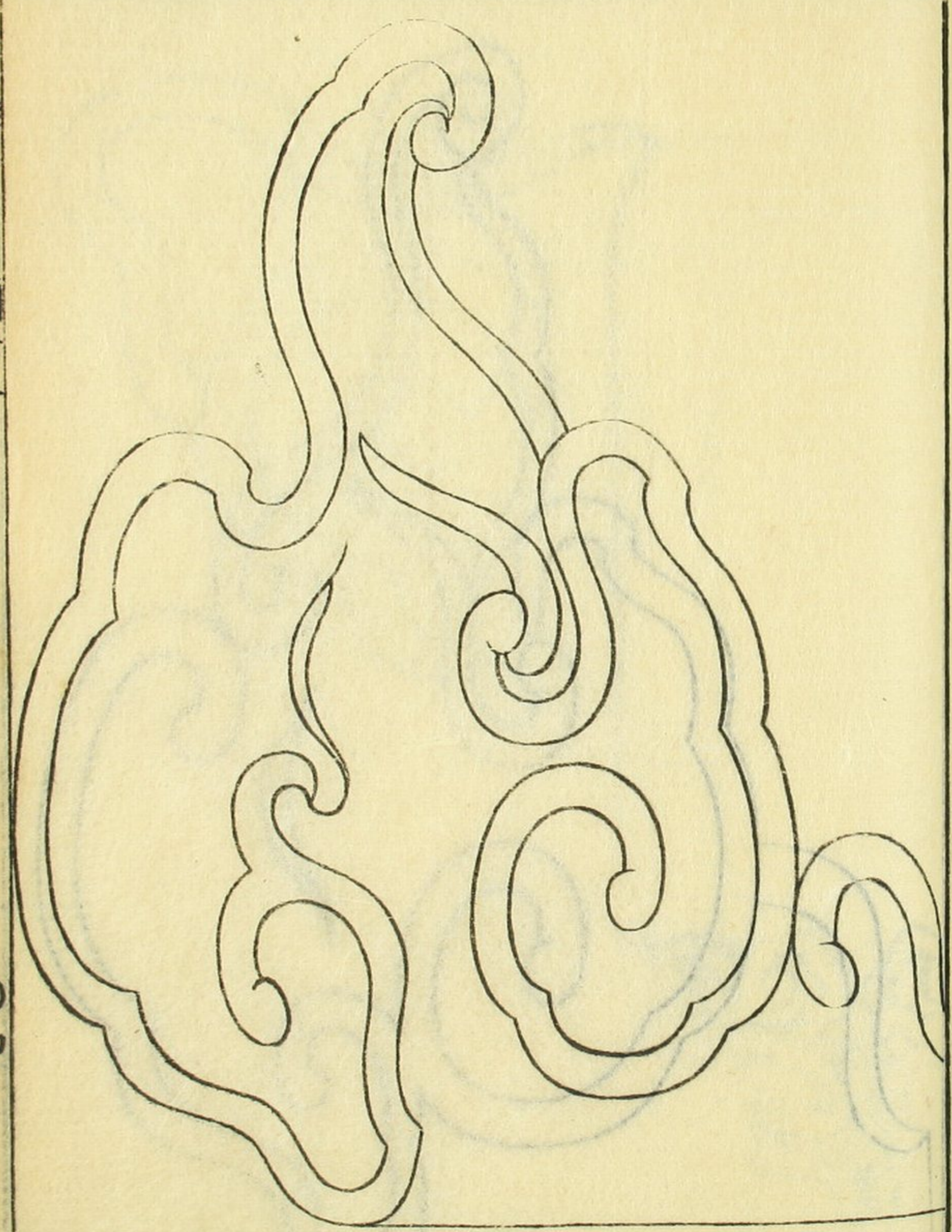


Handwritten text on the left edge of the page, likely a page number or title, written vertically in black ink.



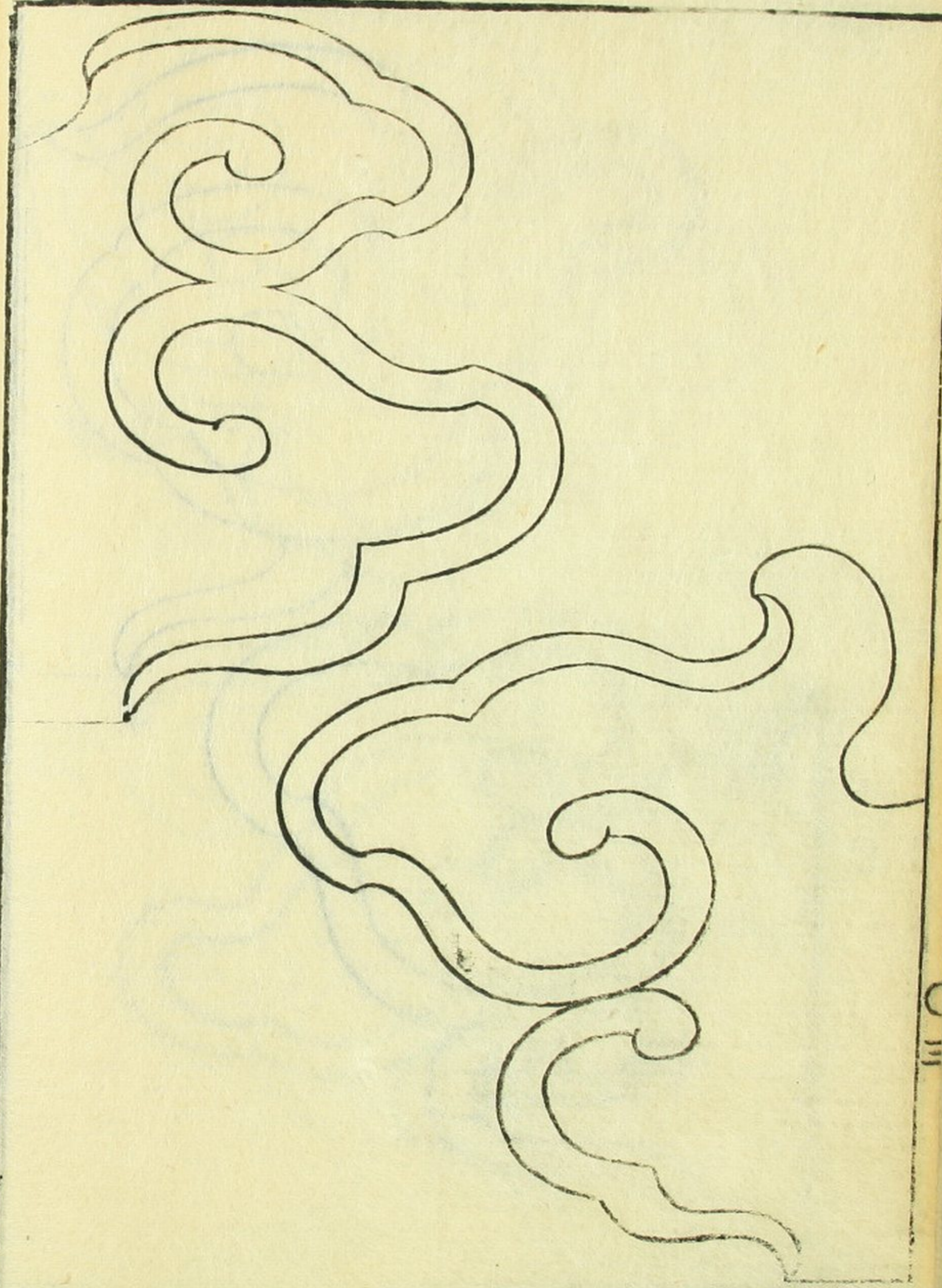






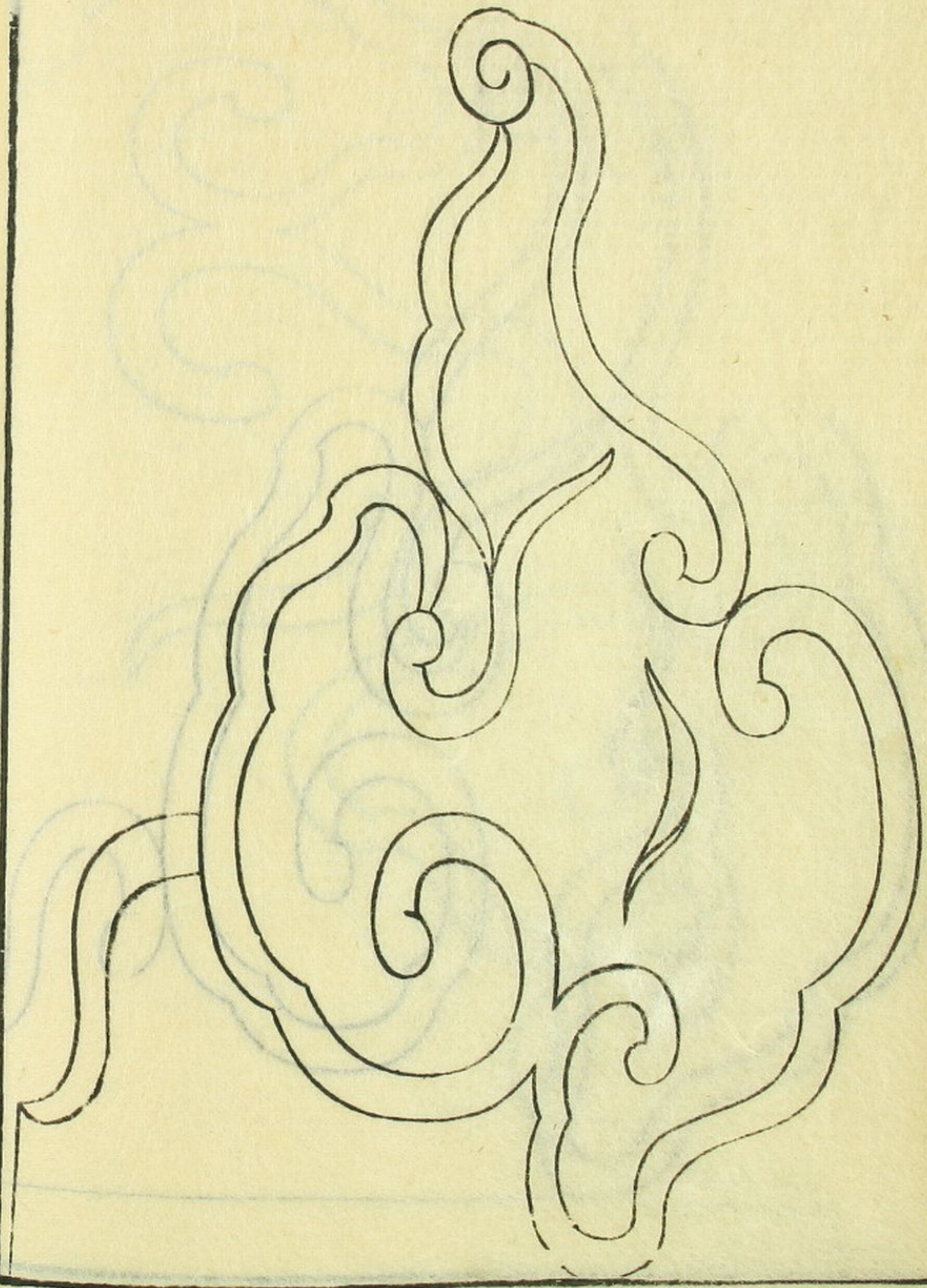
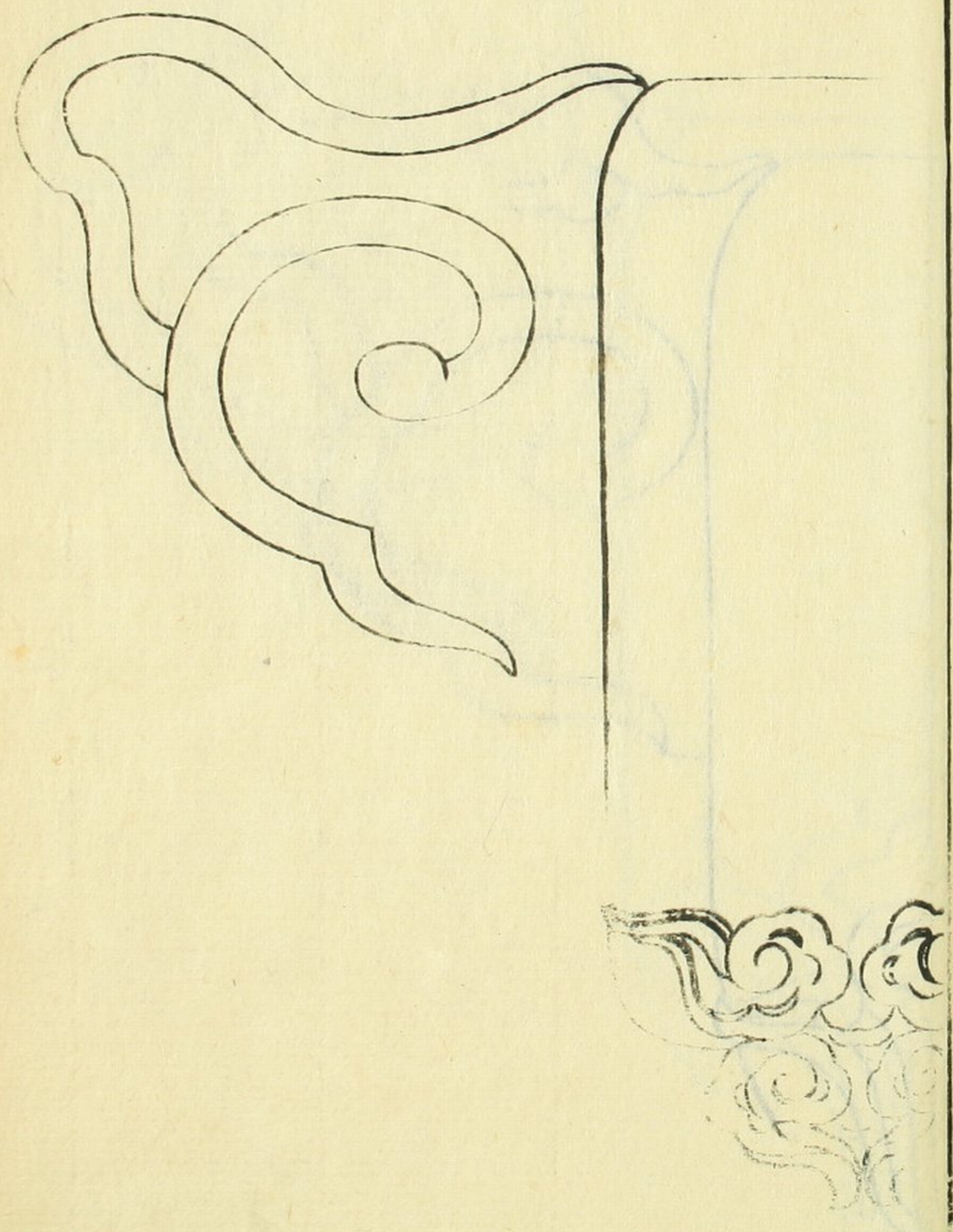
六十二卷多
卷五

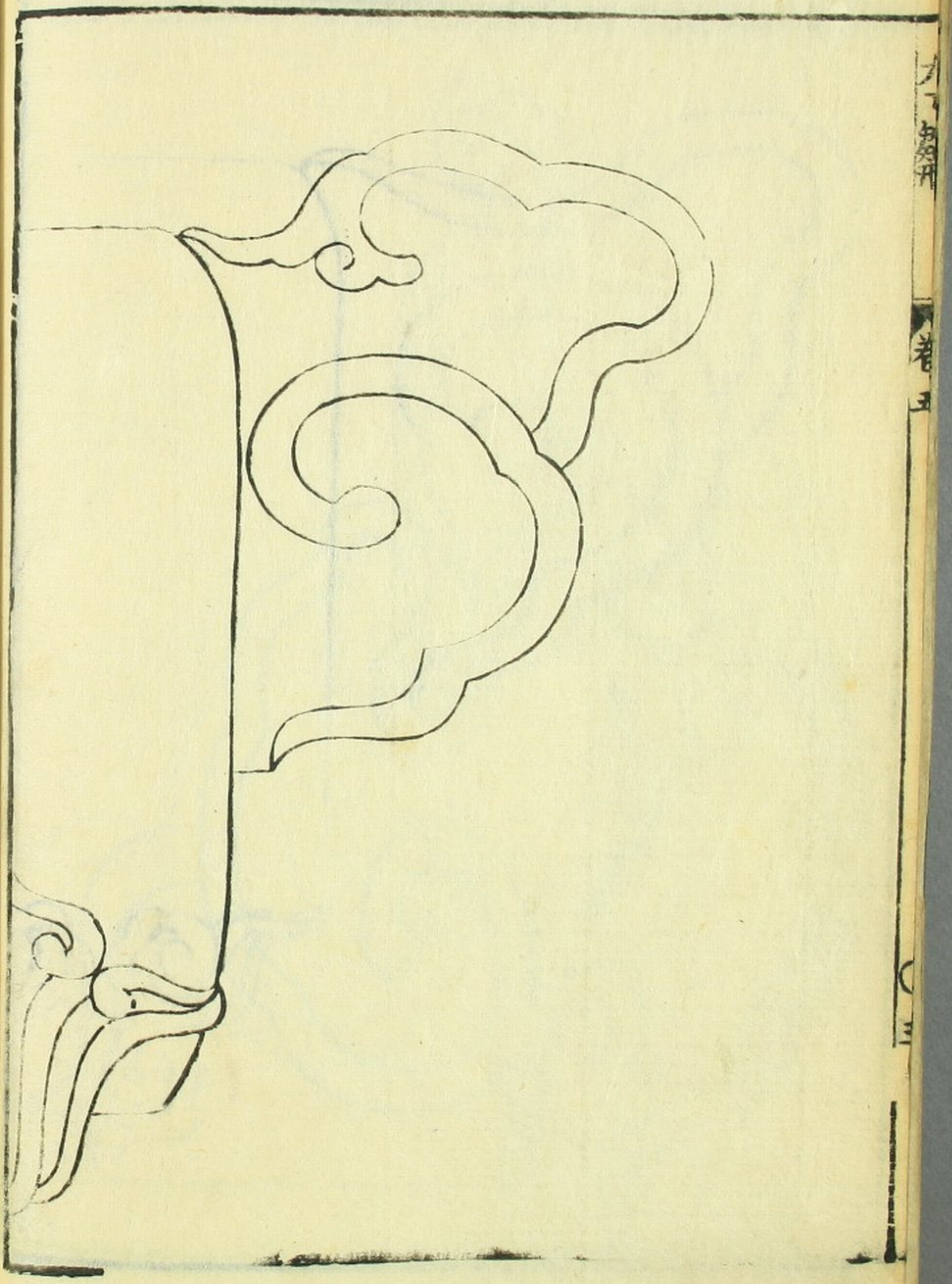
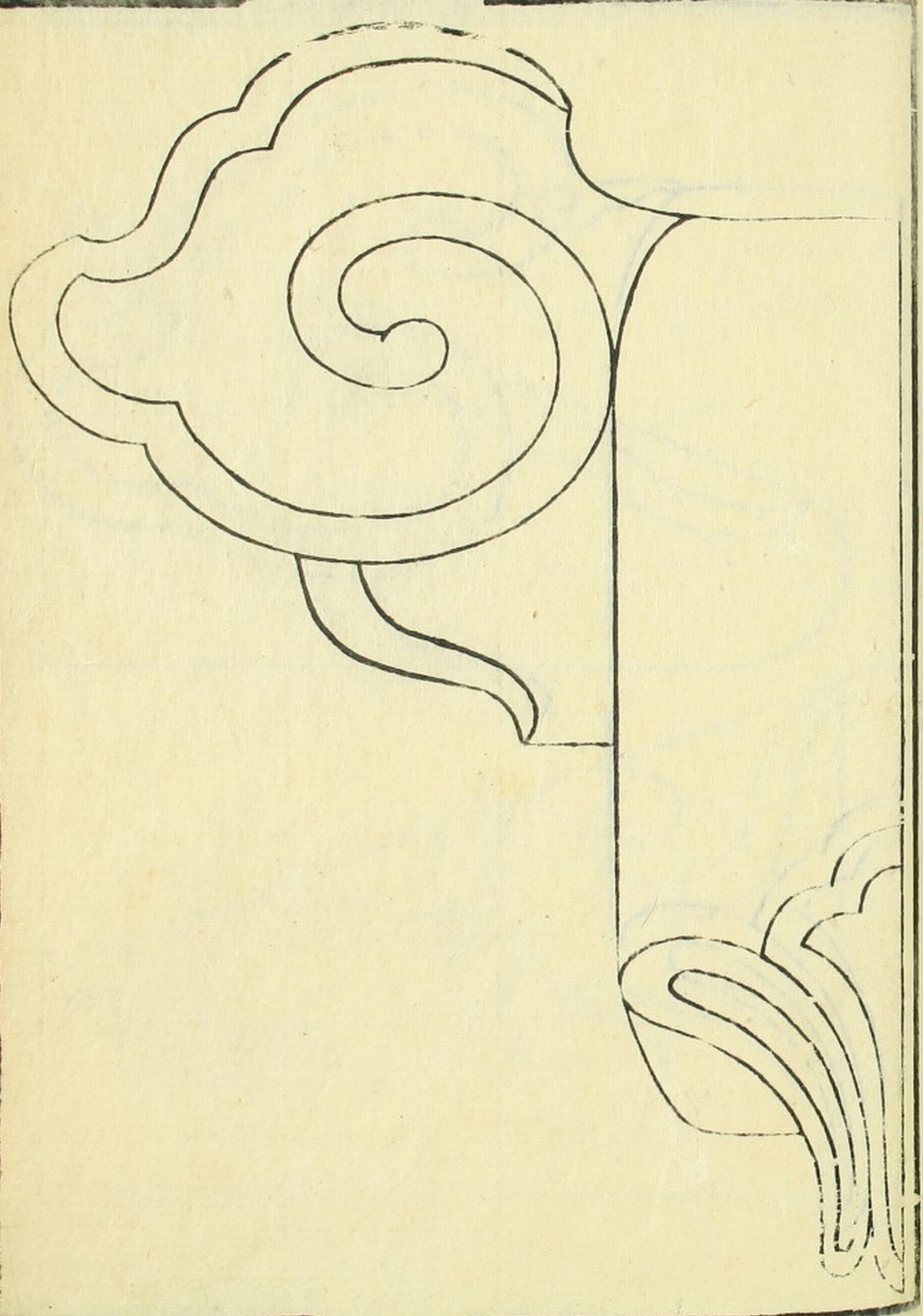
三

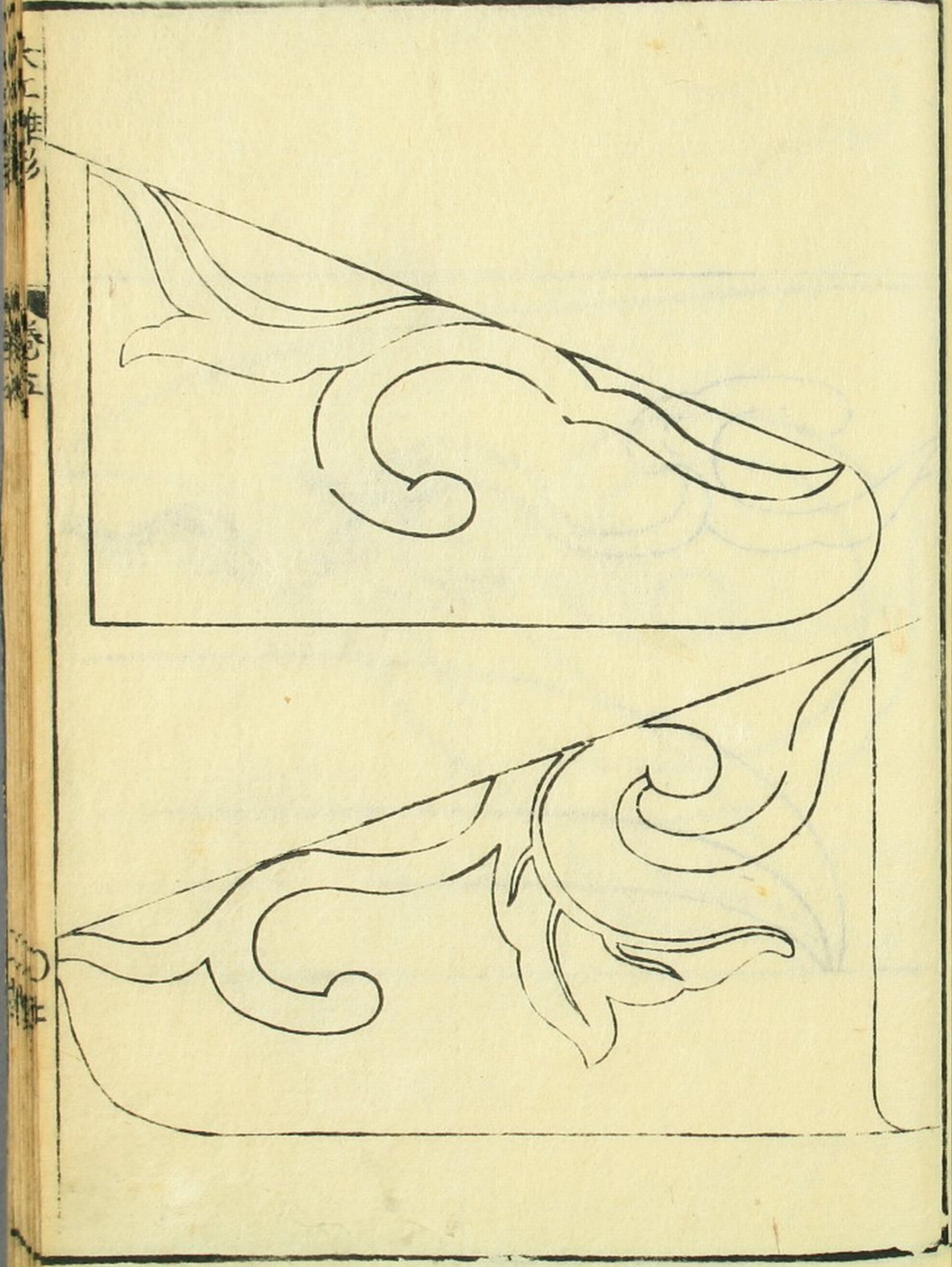


六十二卷多
卷五

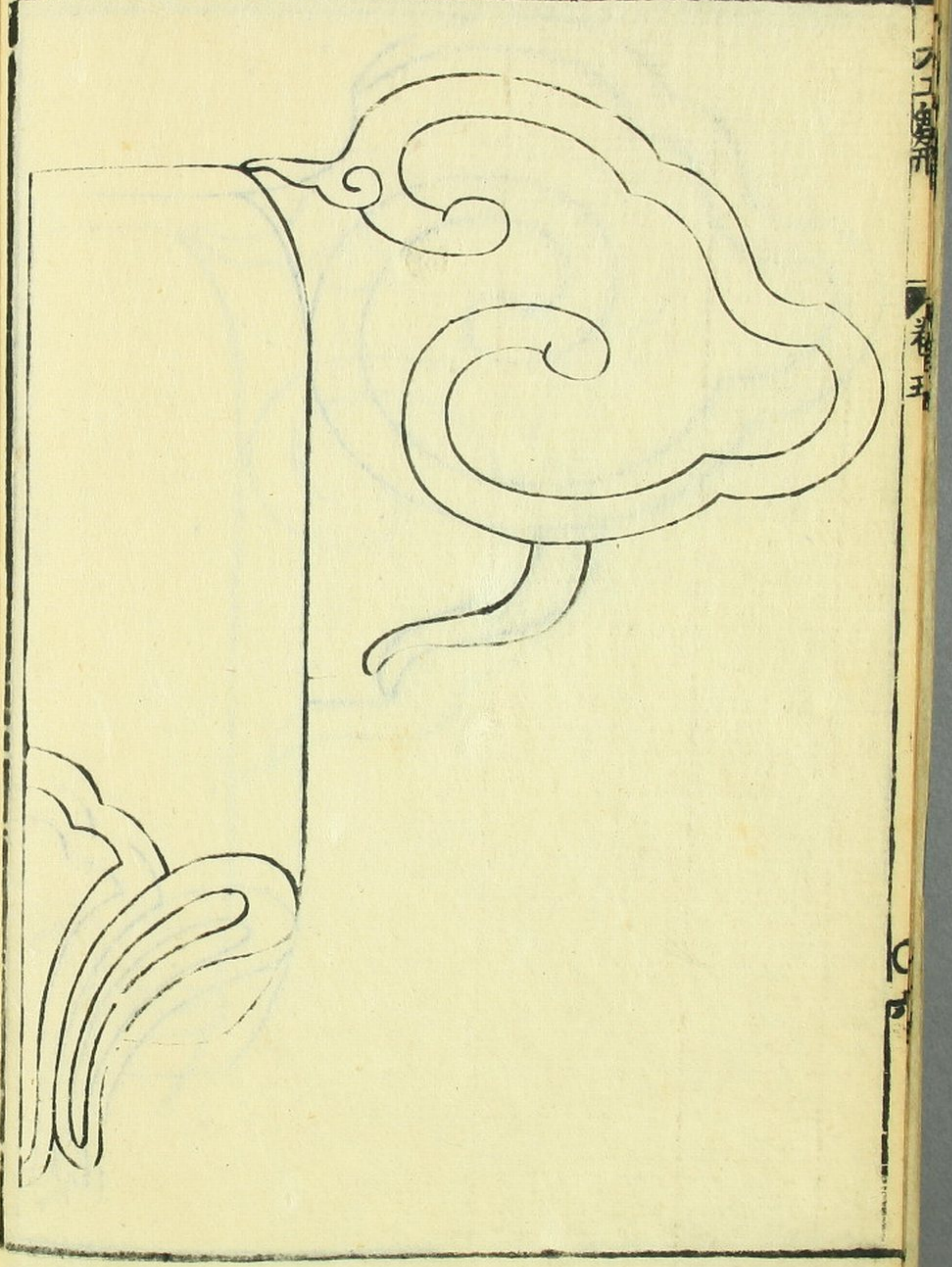
三



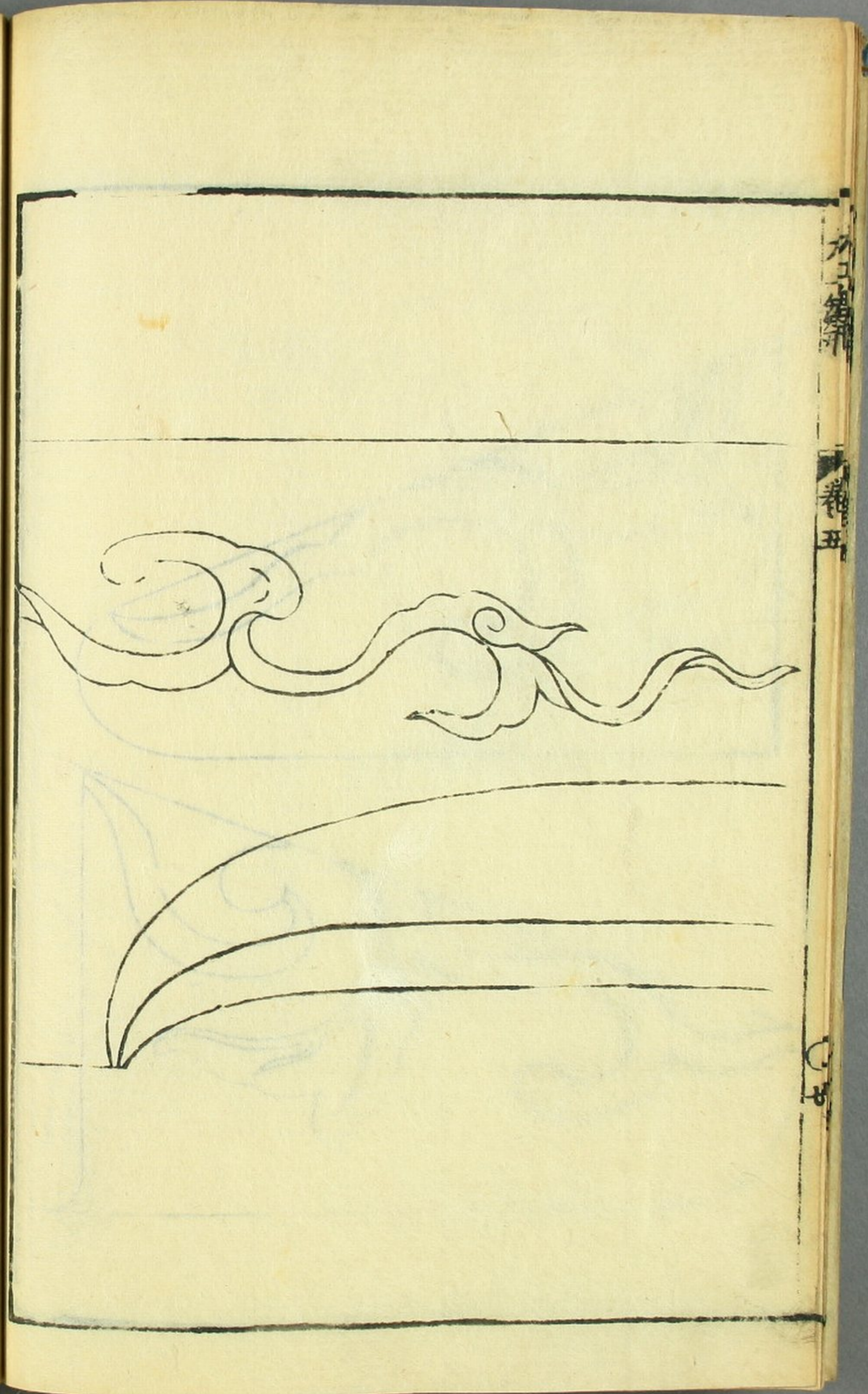
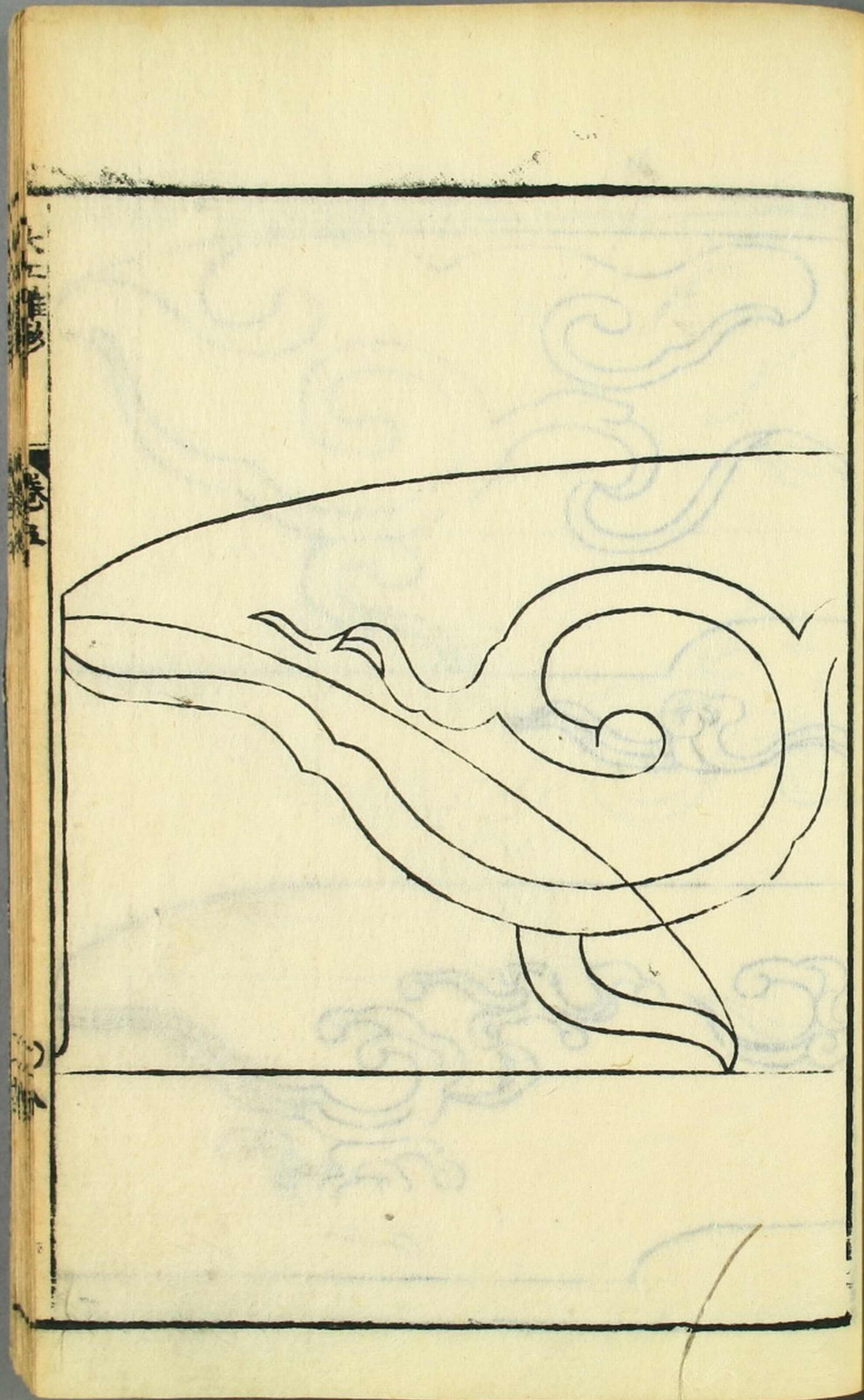


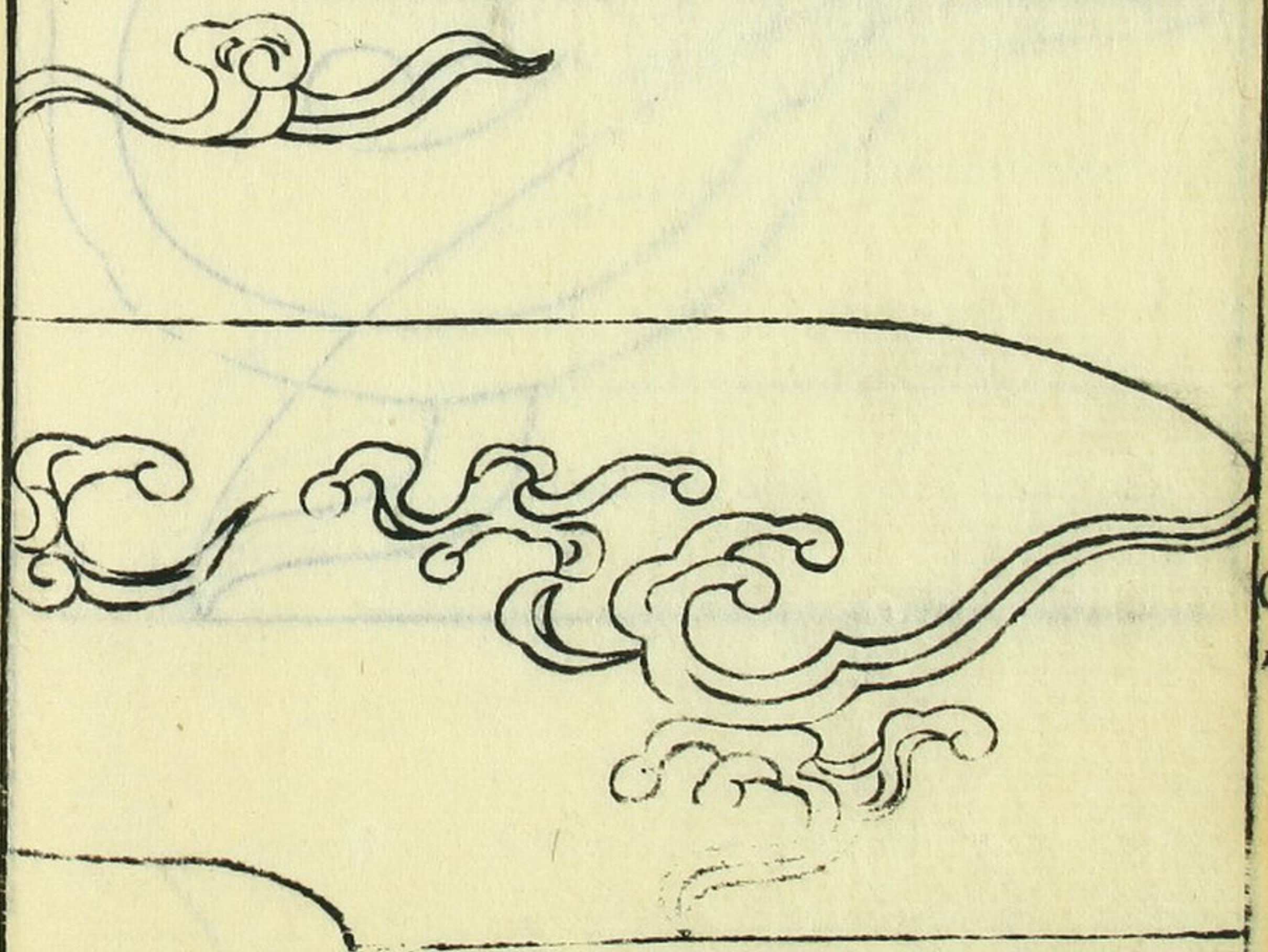
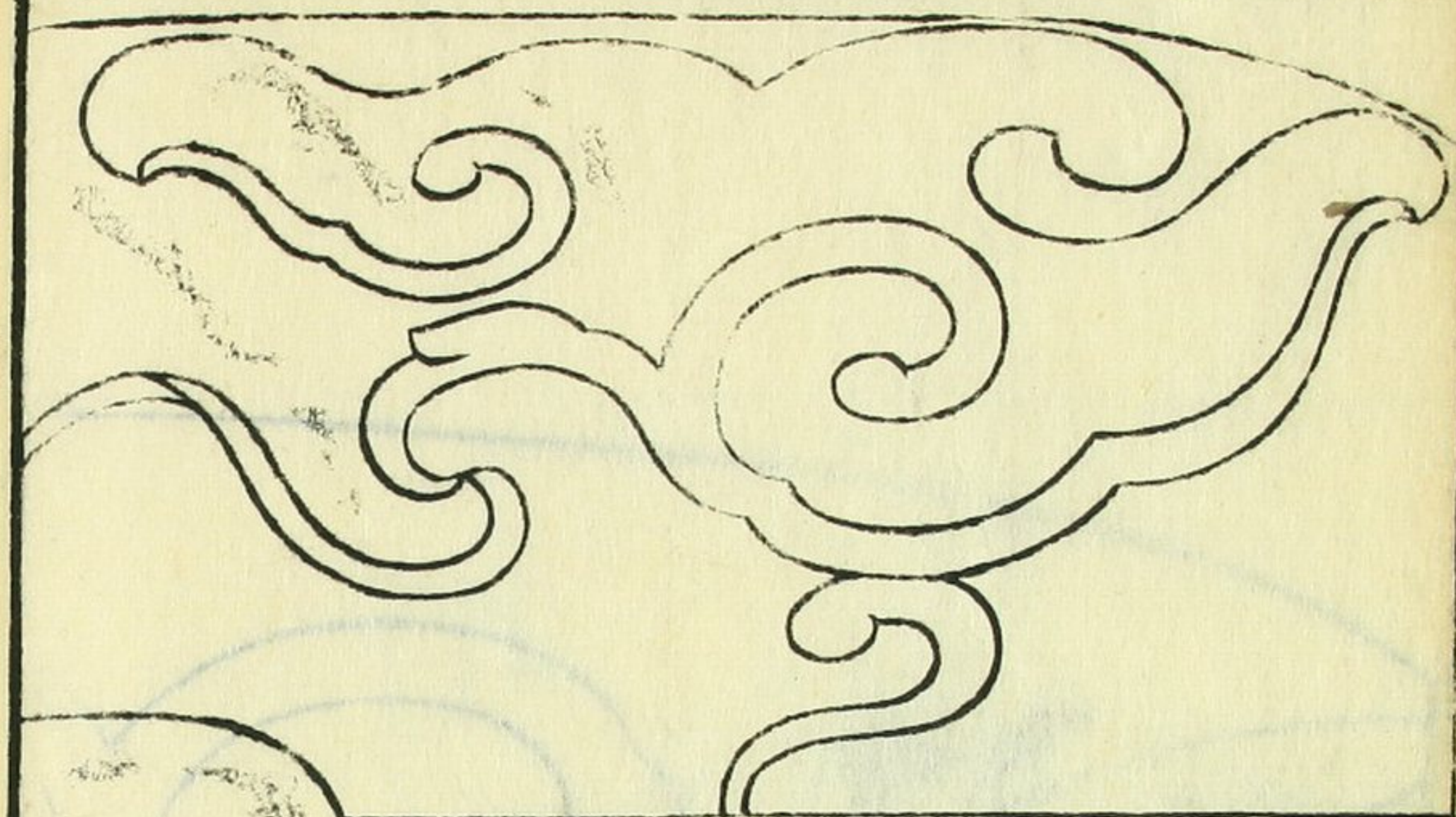
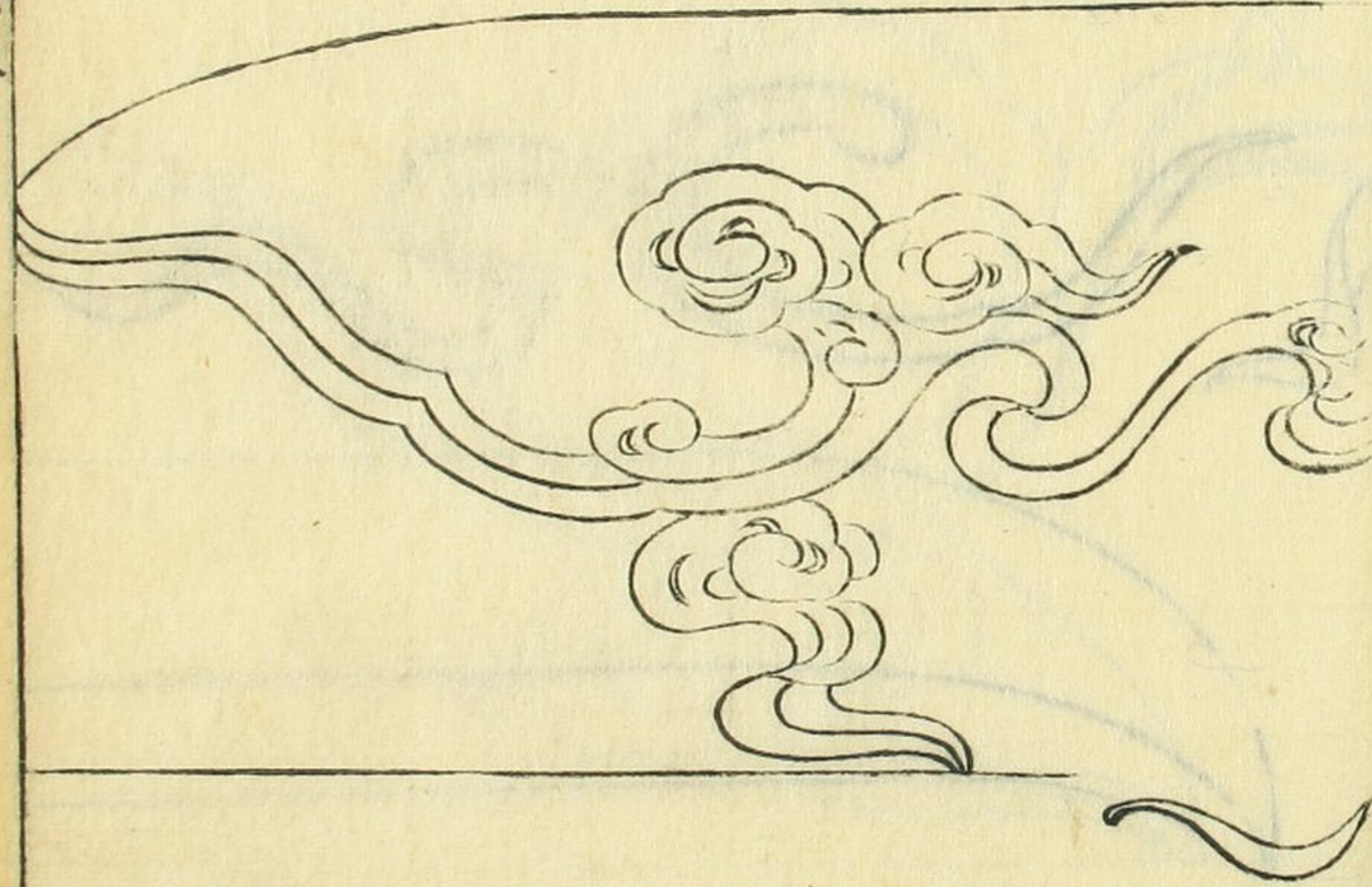


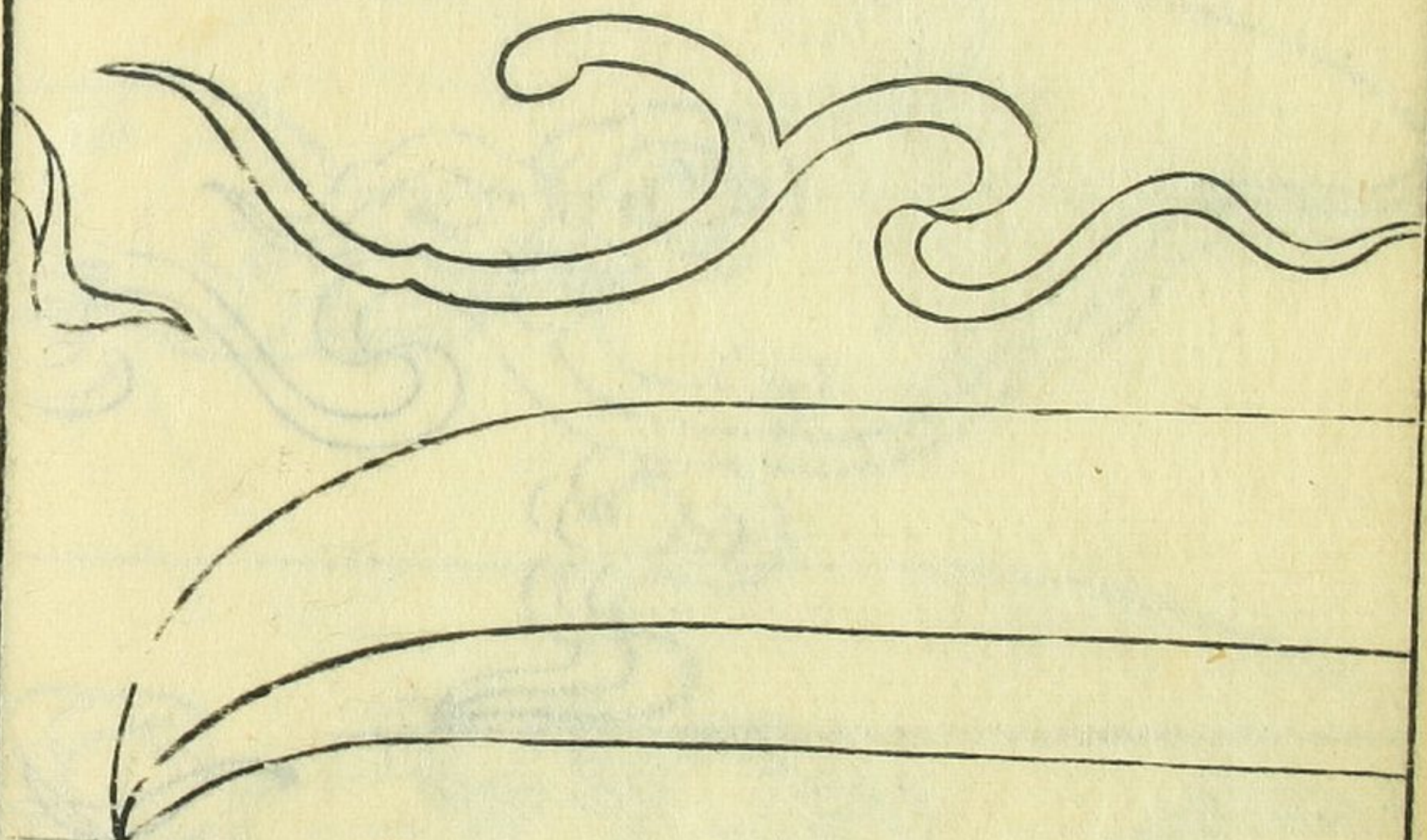
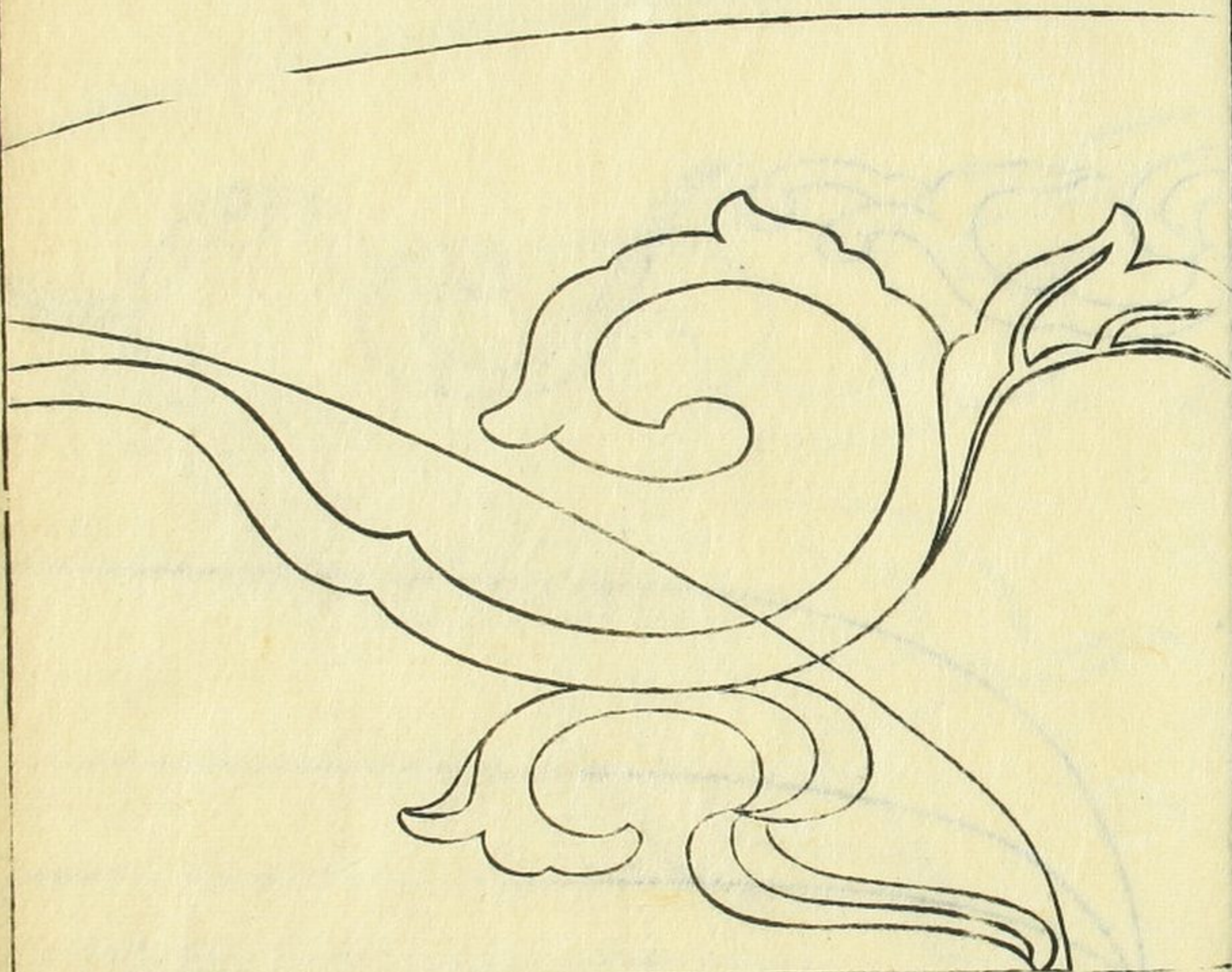
六十一
卷五

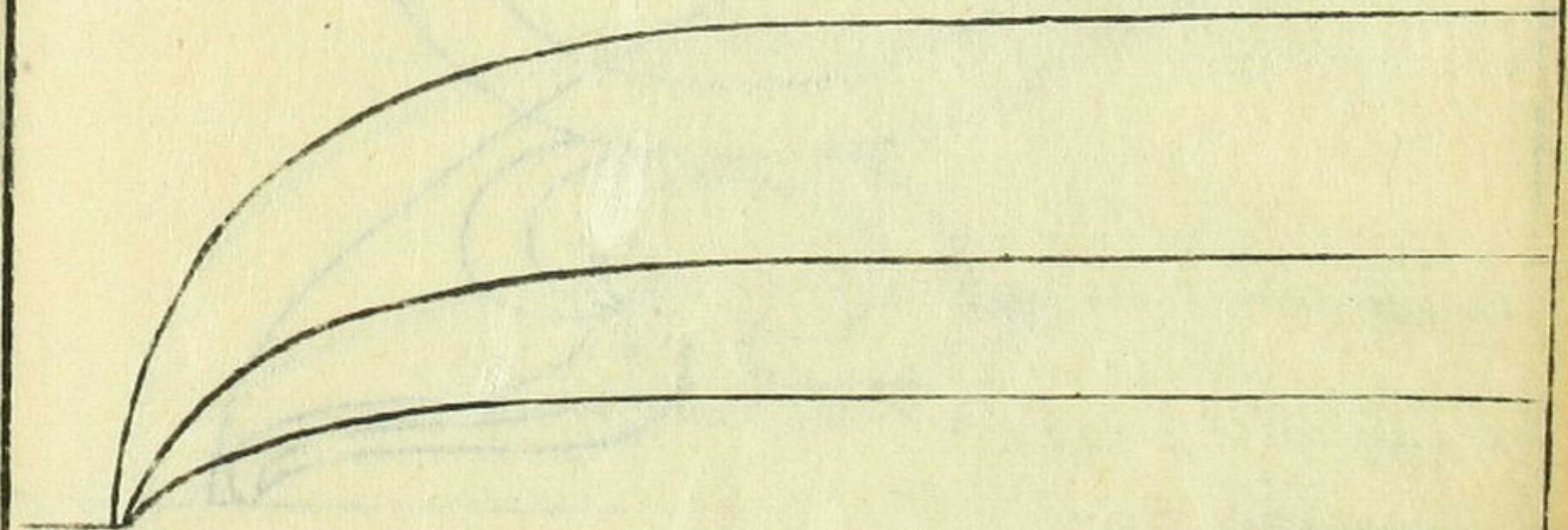
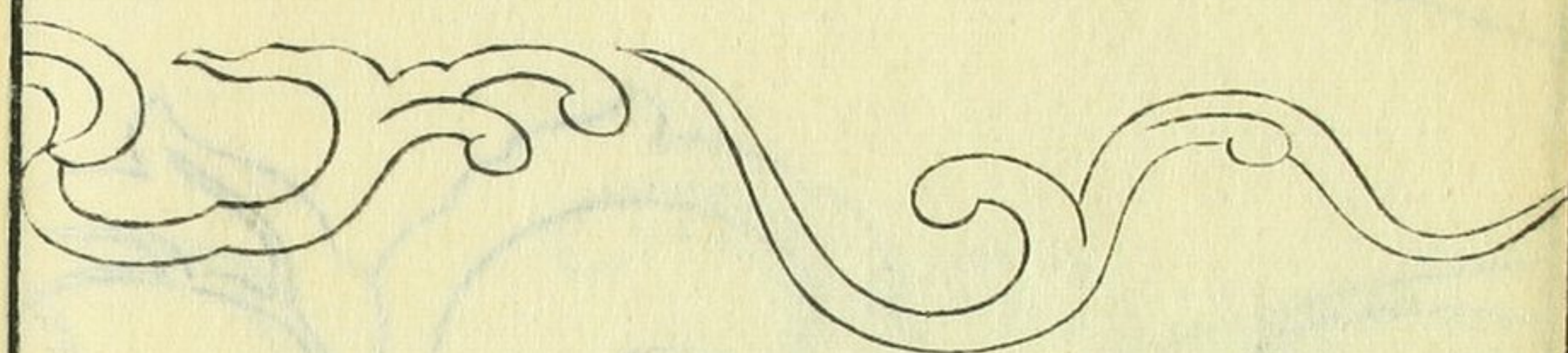
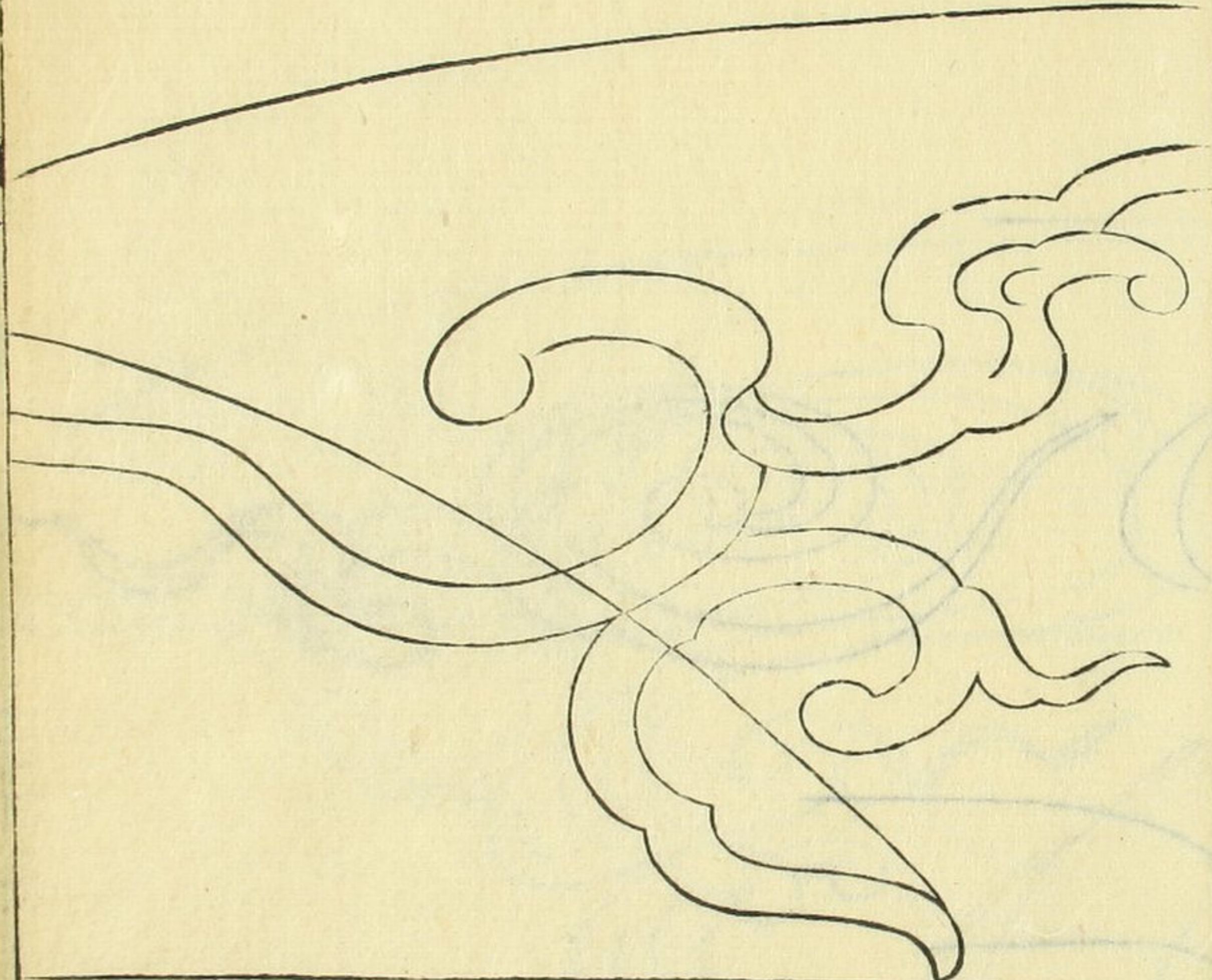


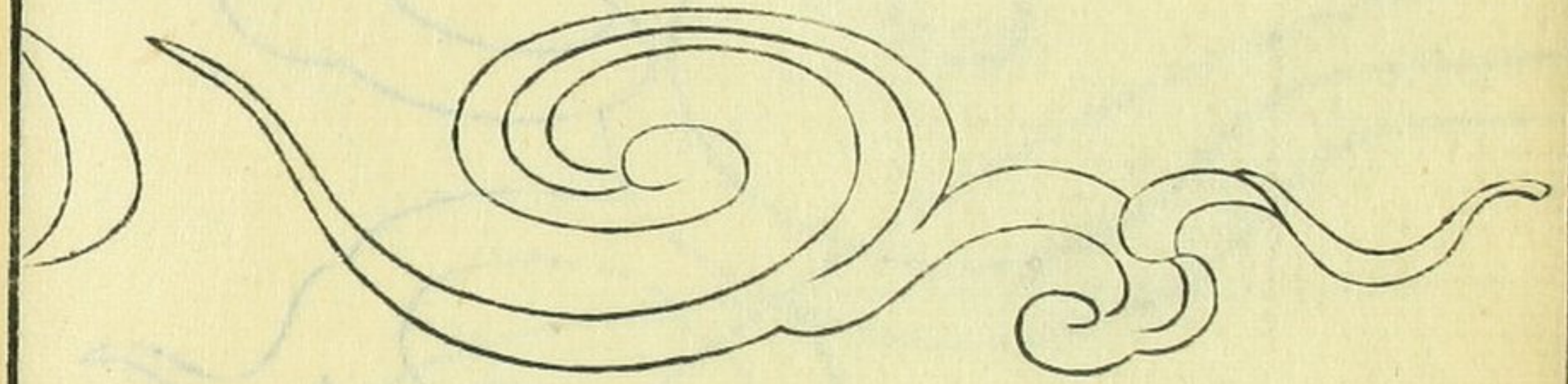
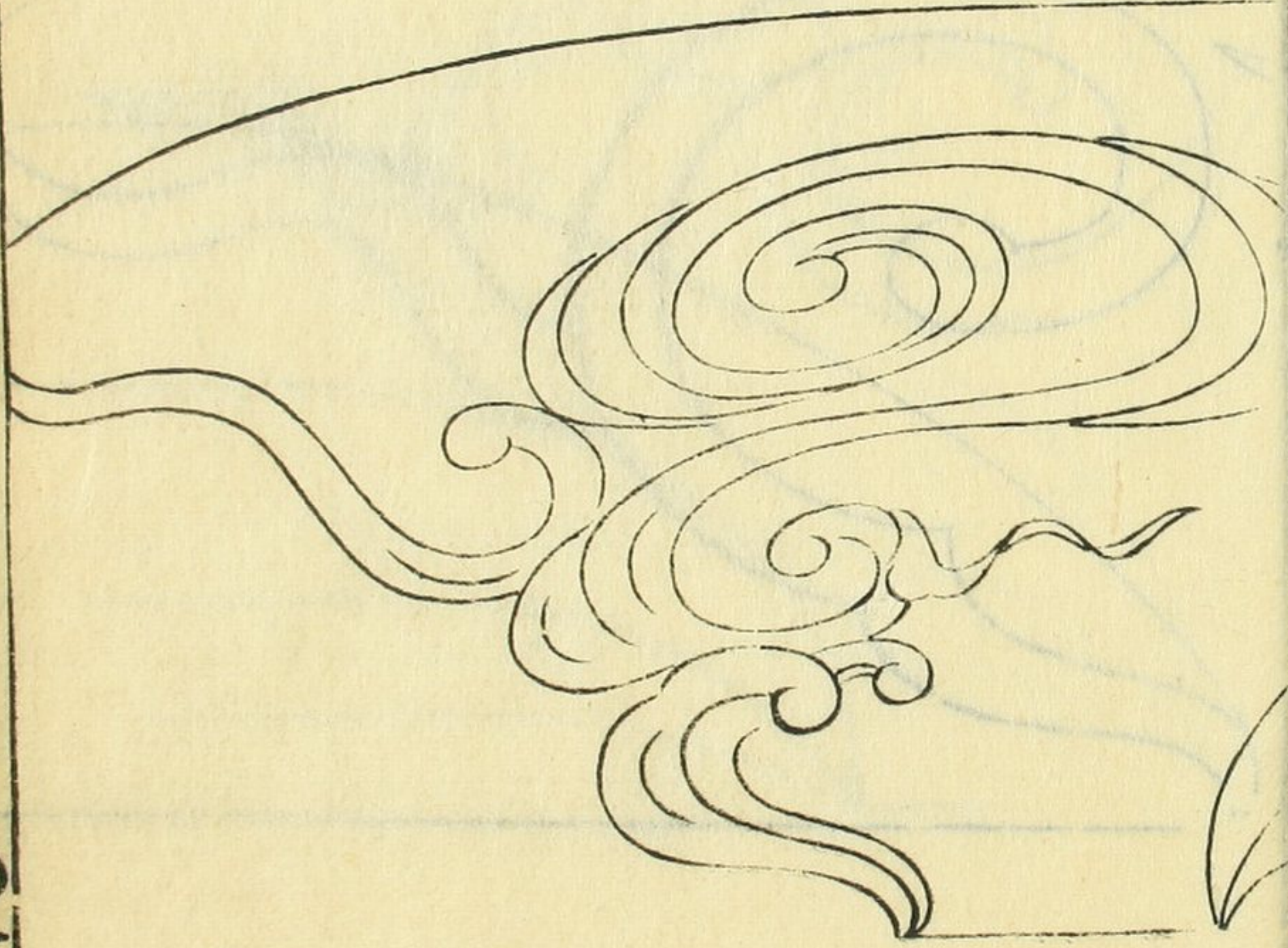
六十二
卷五

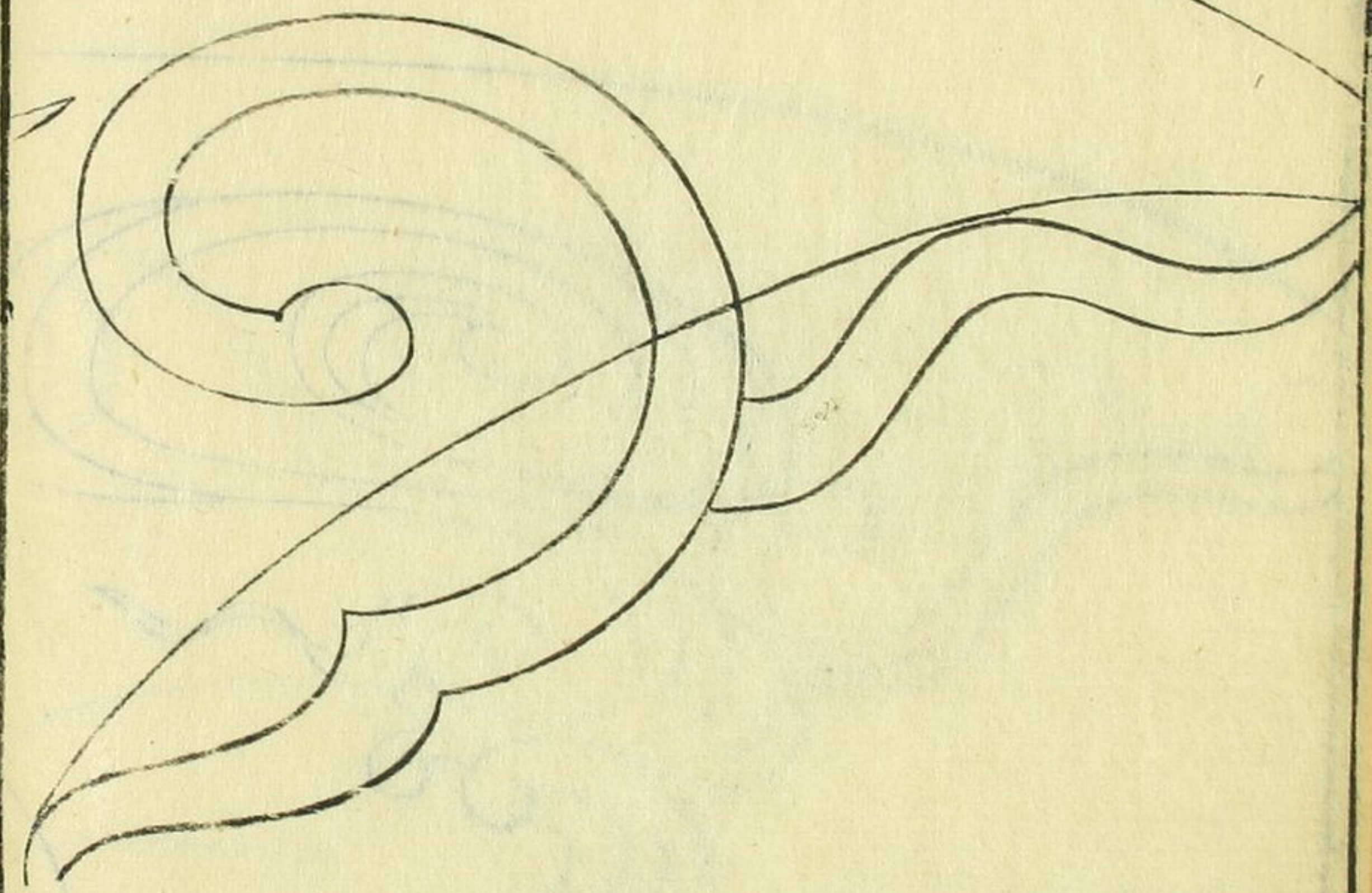
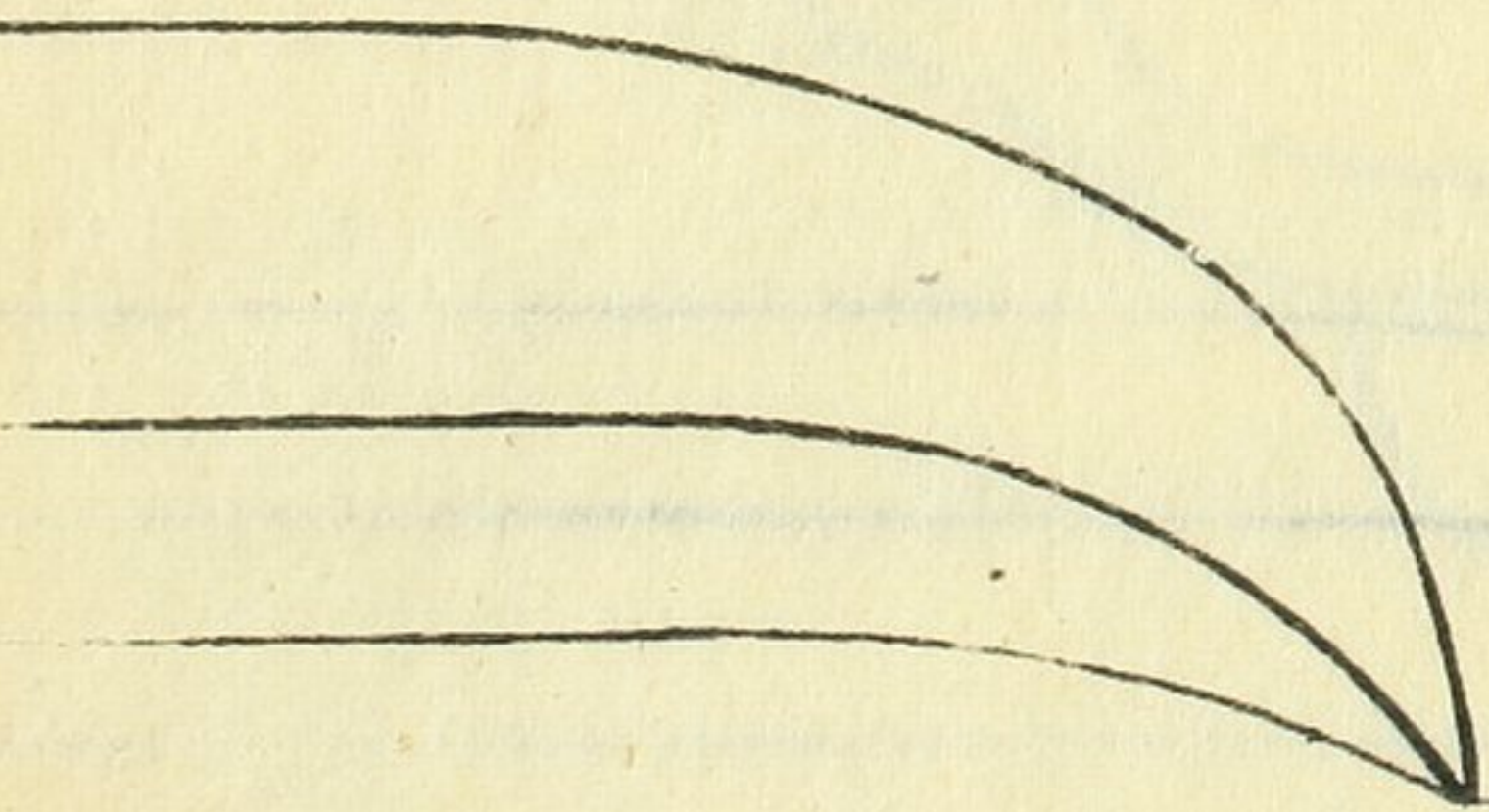
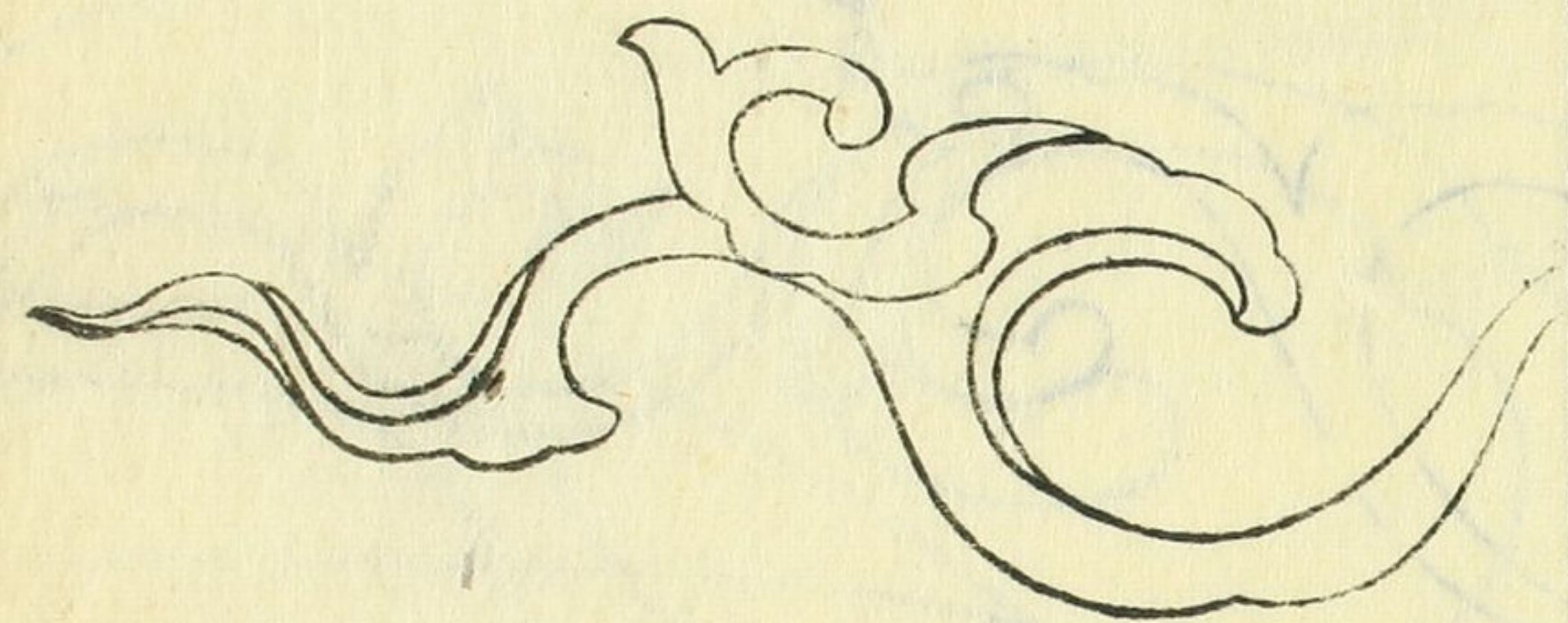


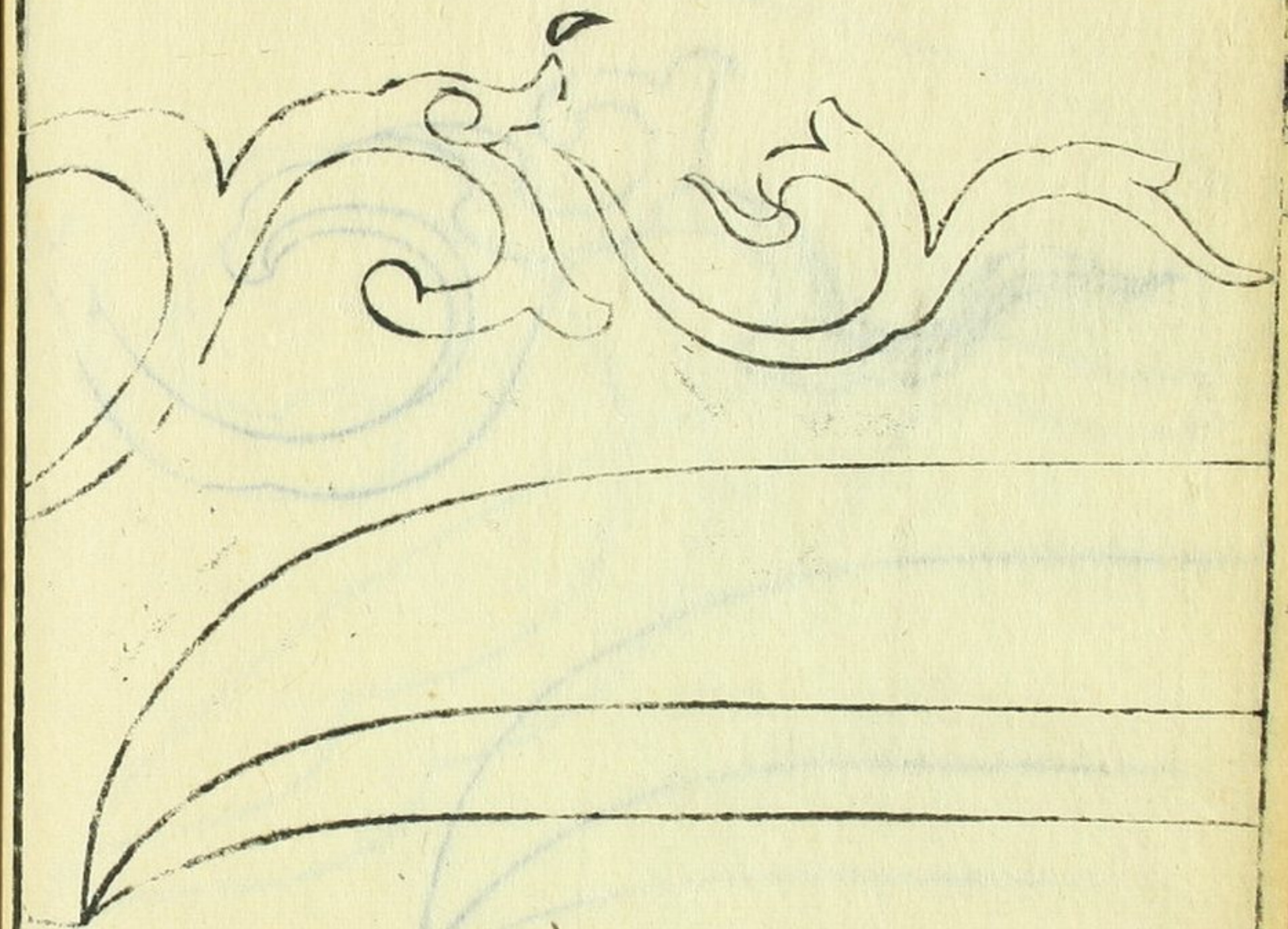
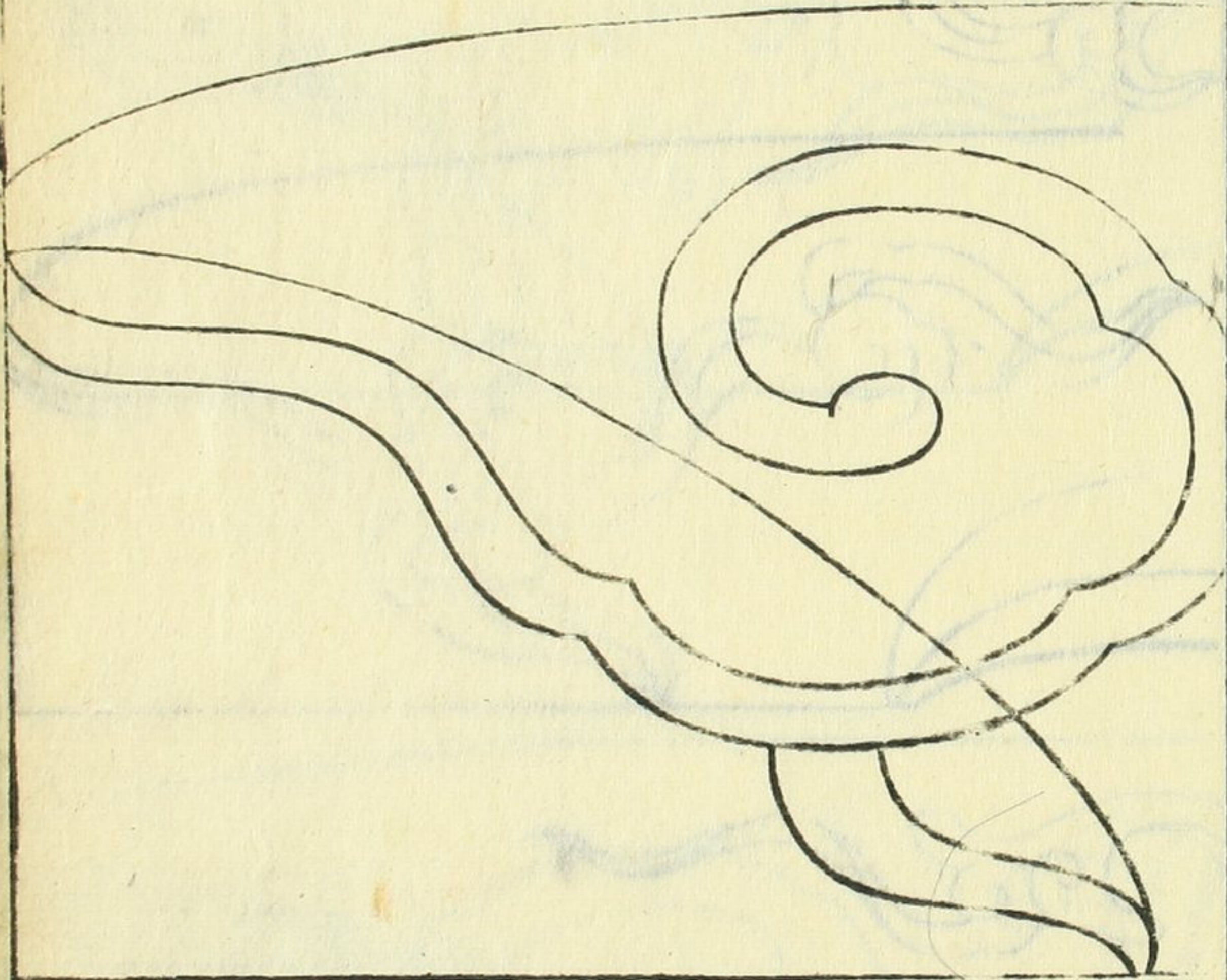


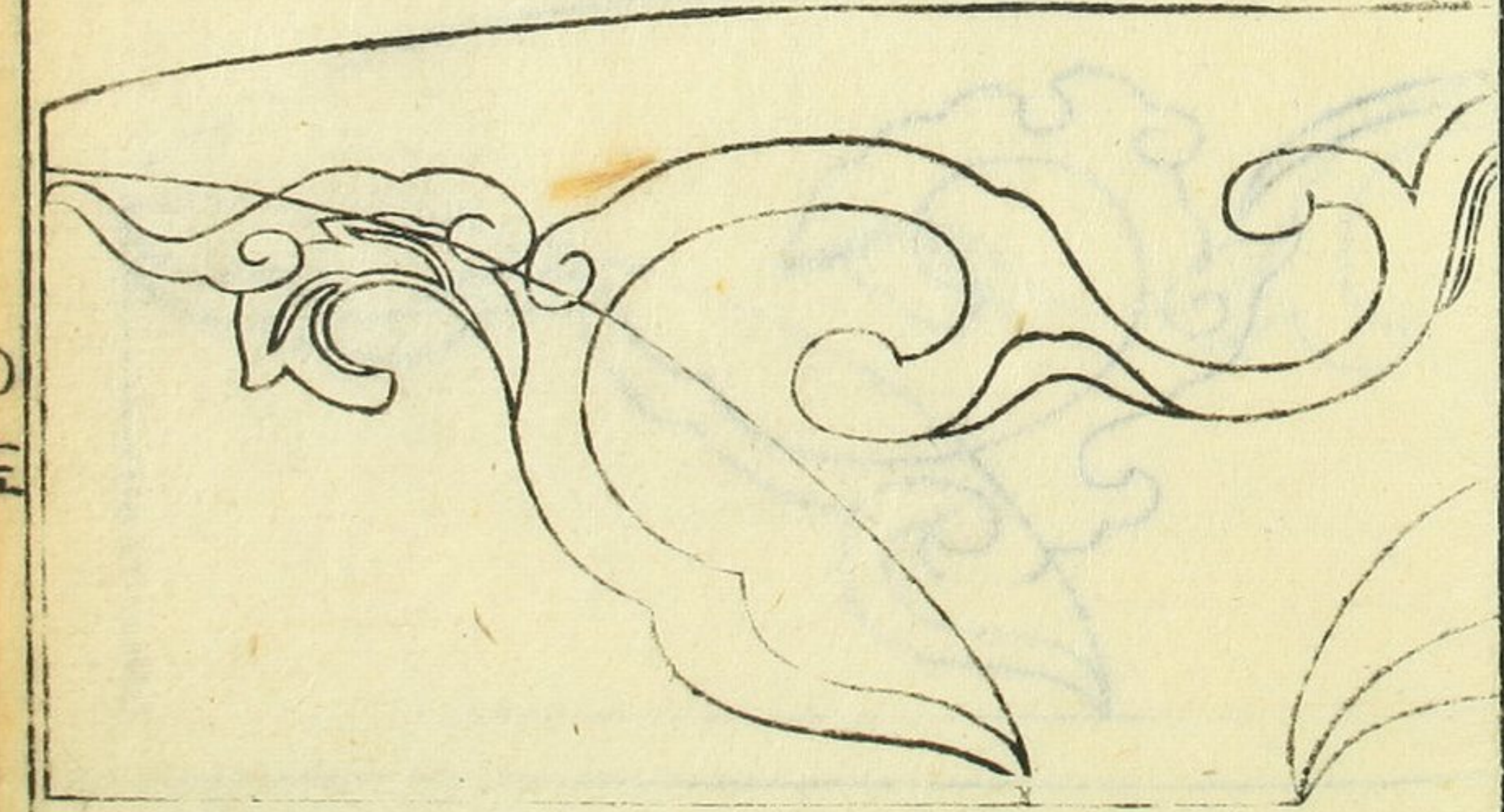
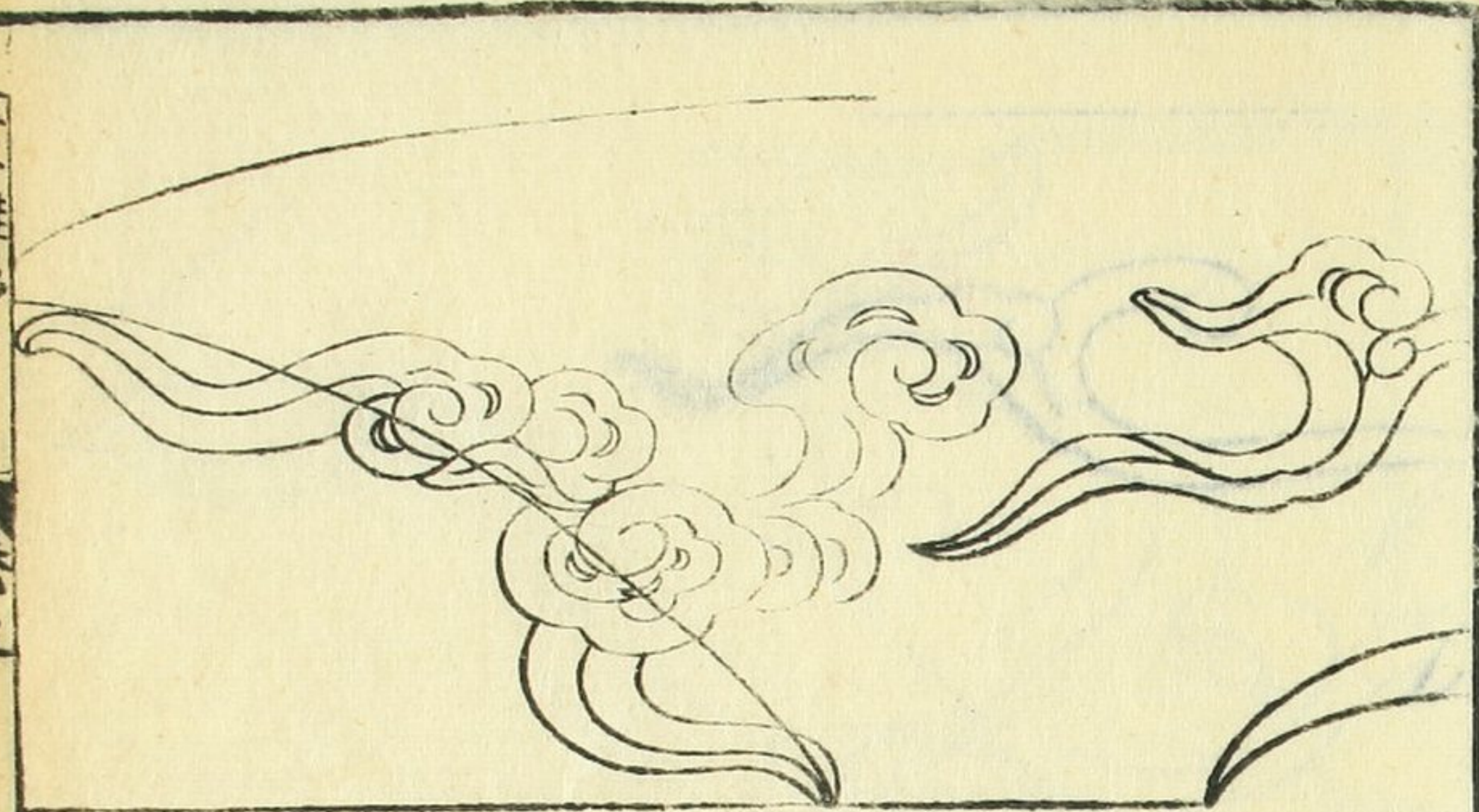




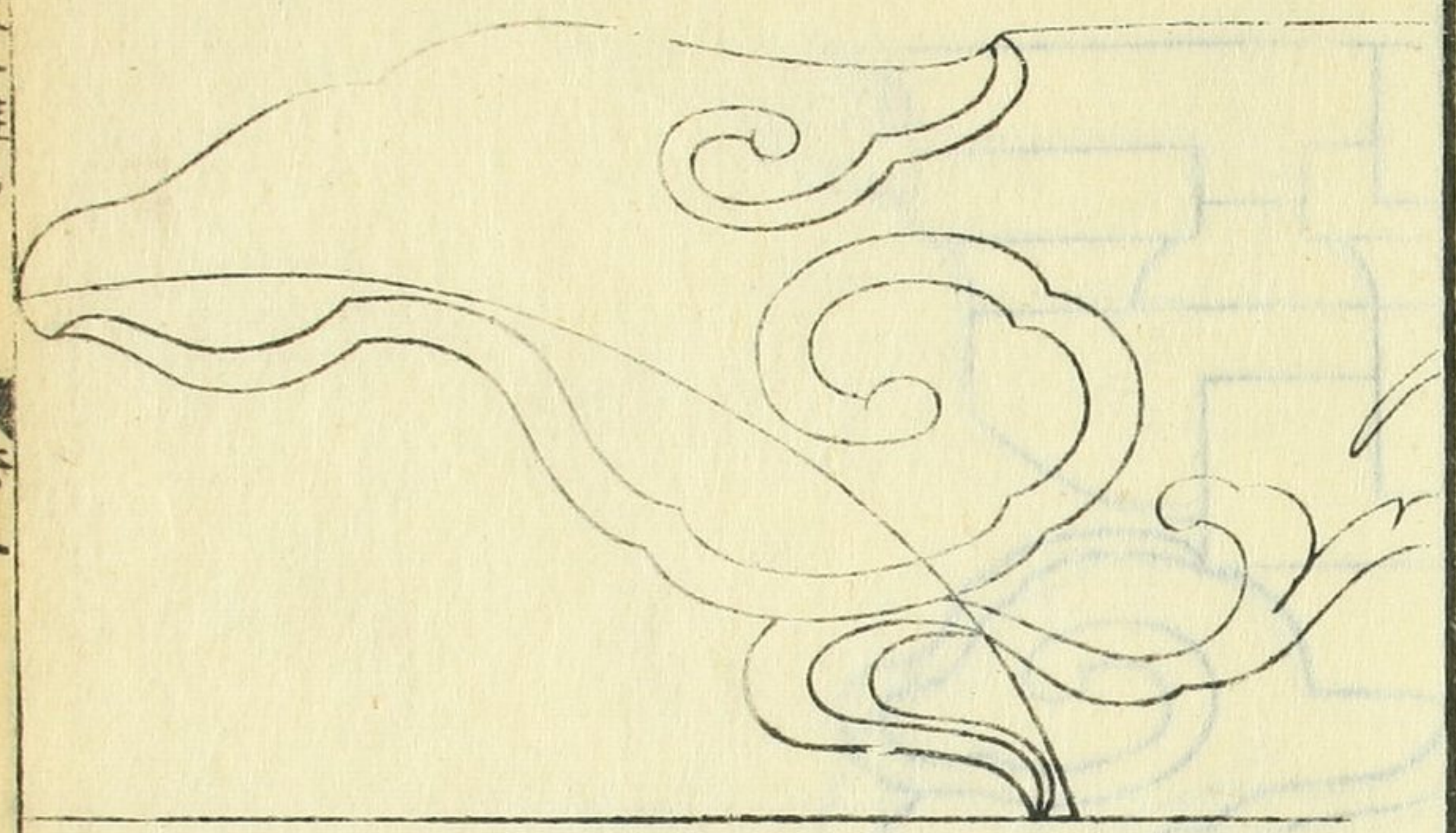








天工雜錄
卷五



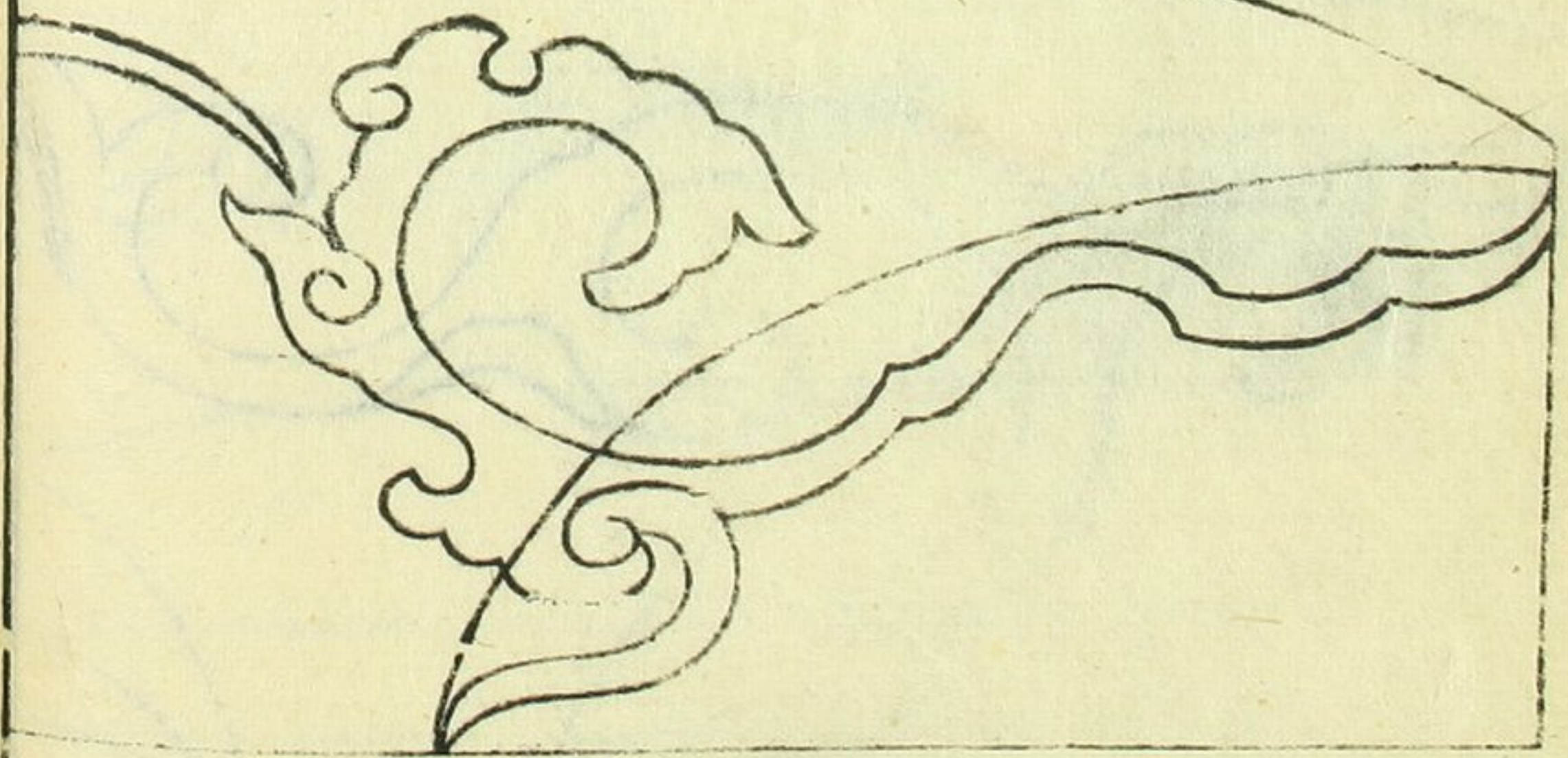
卷五

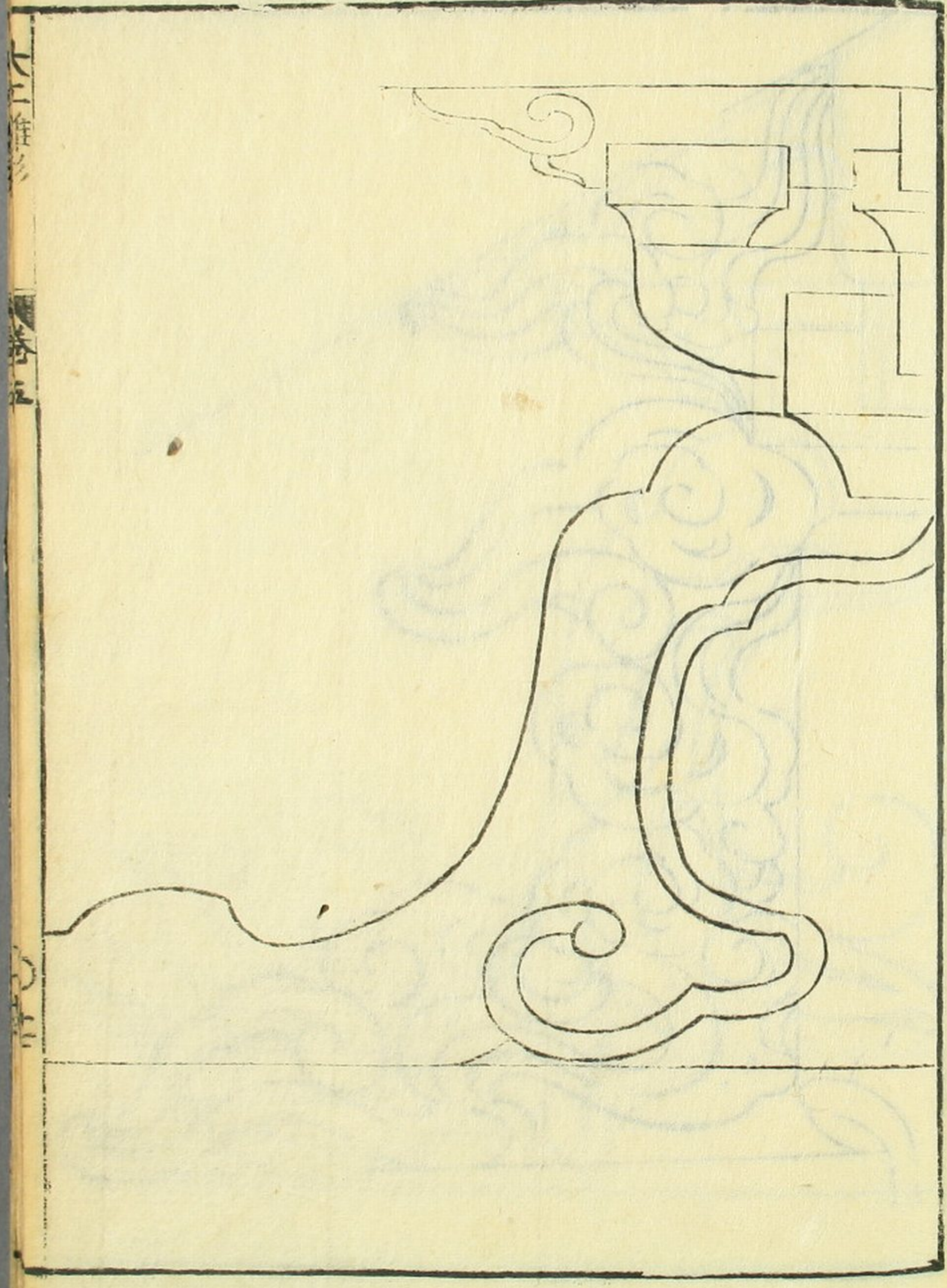


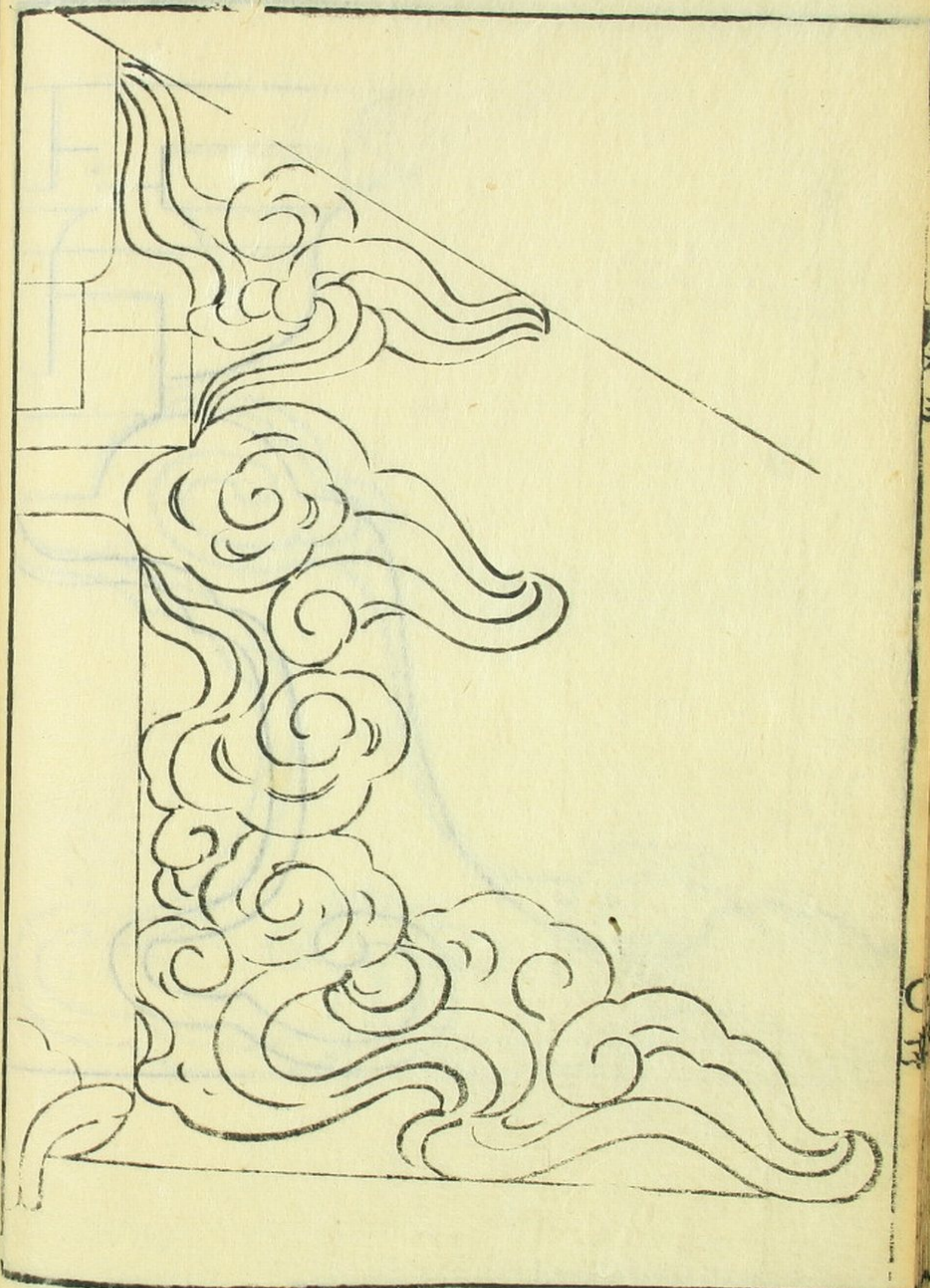
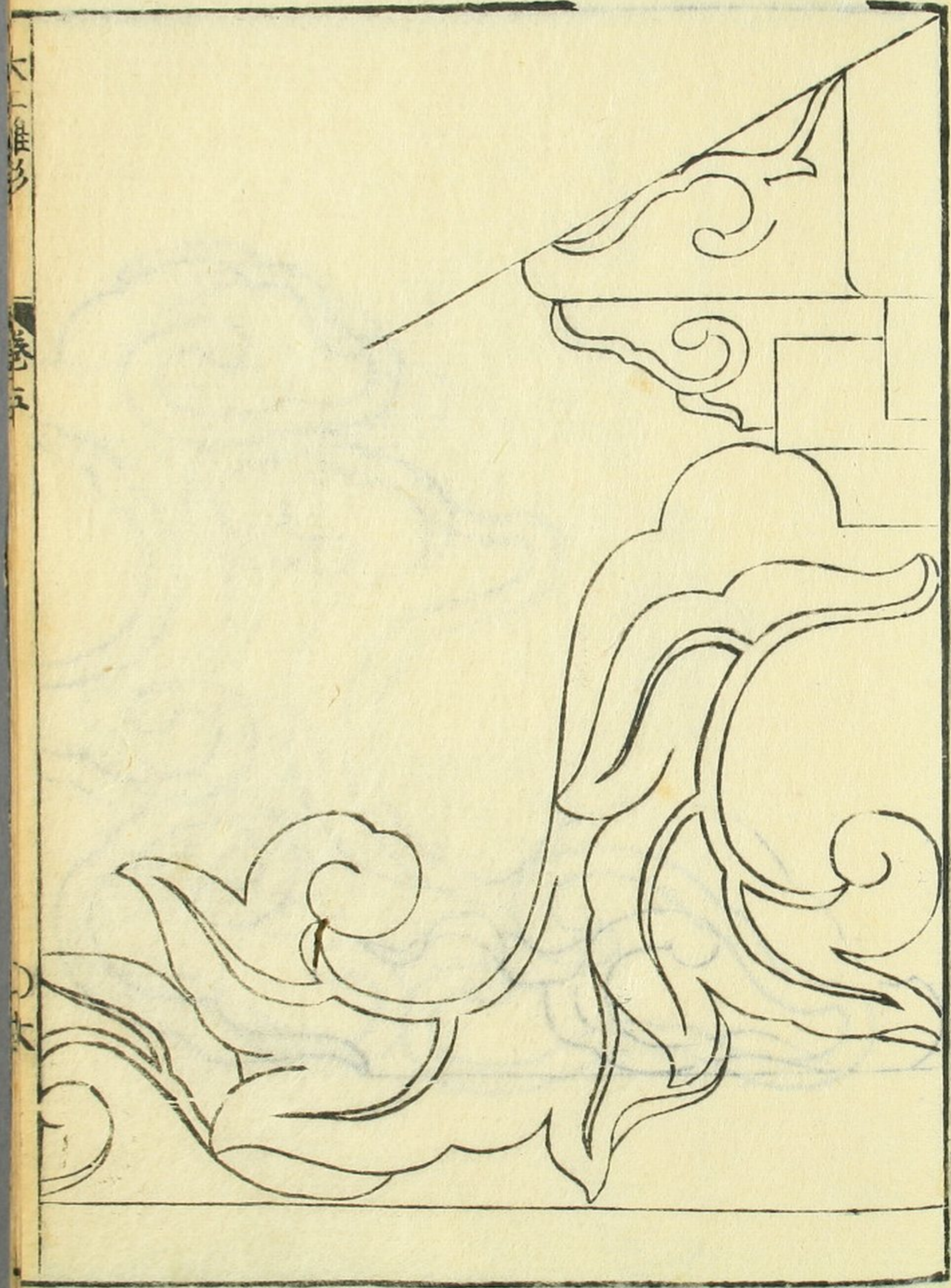
天工雜錄
卷五

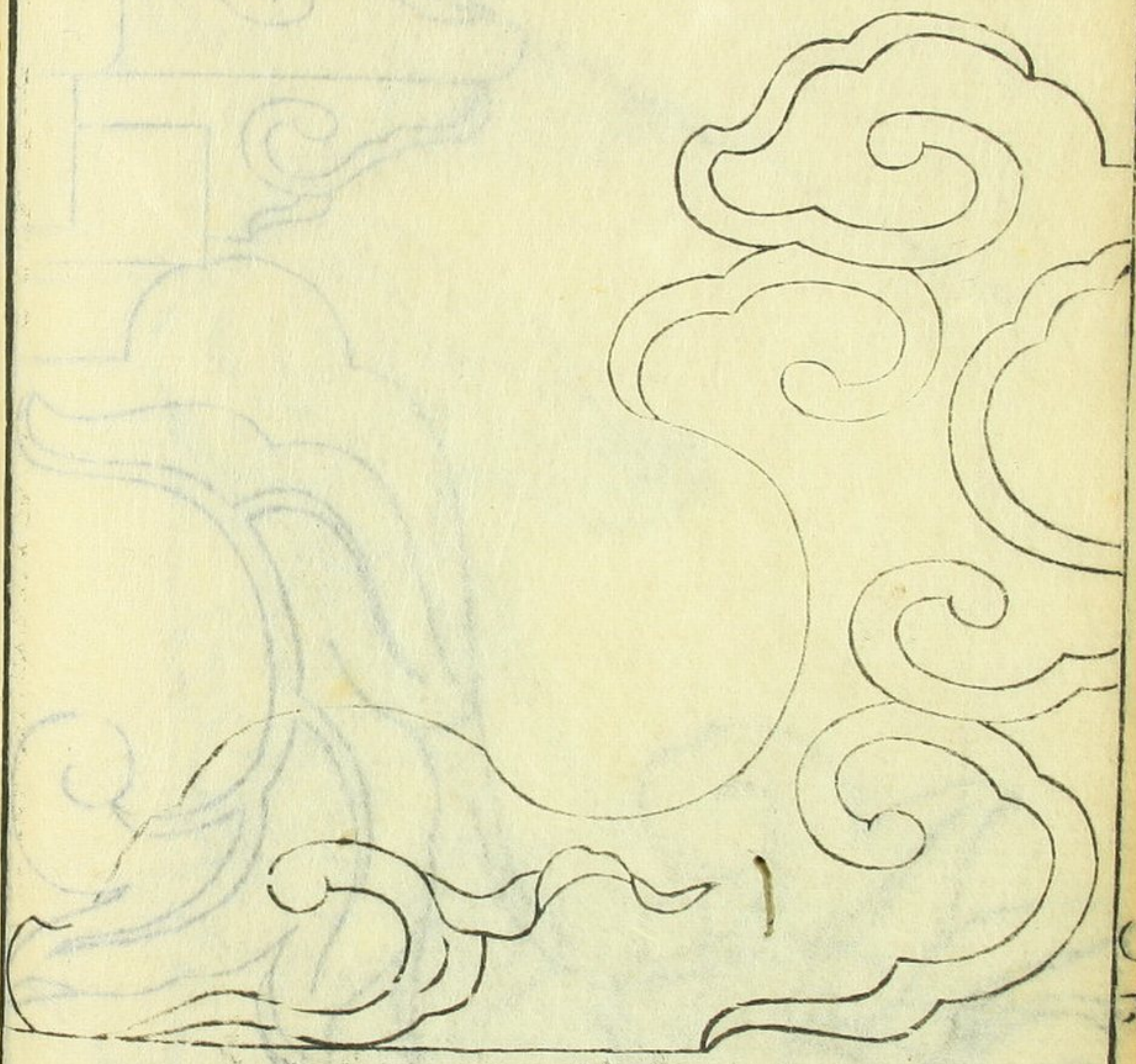
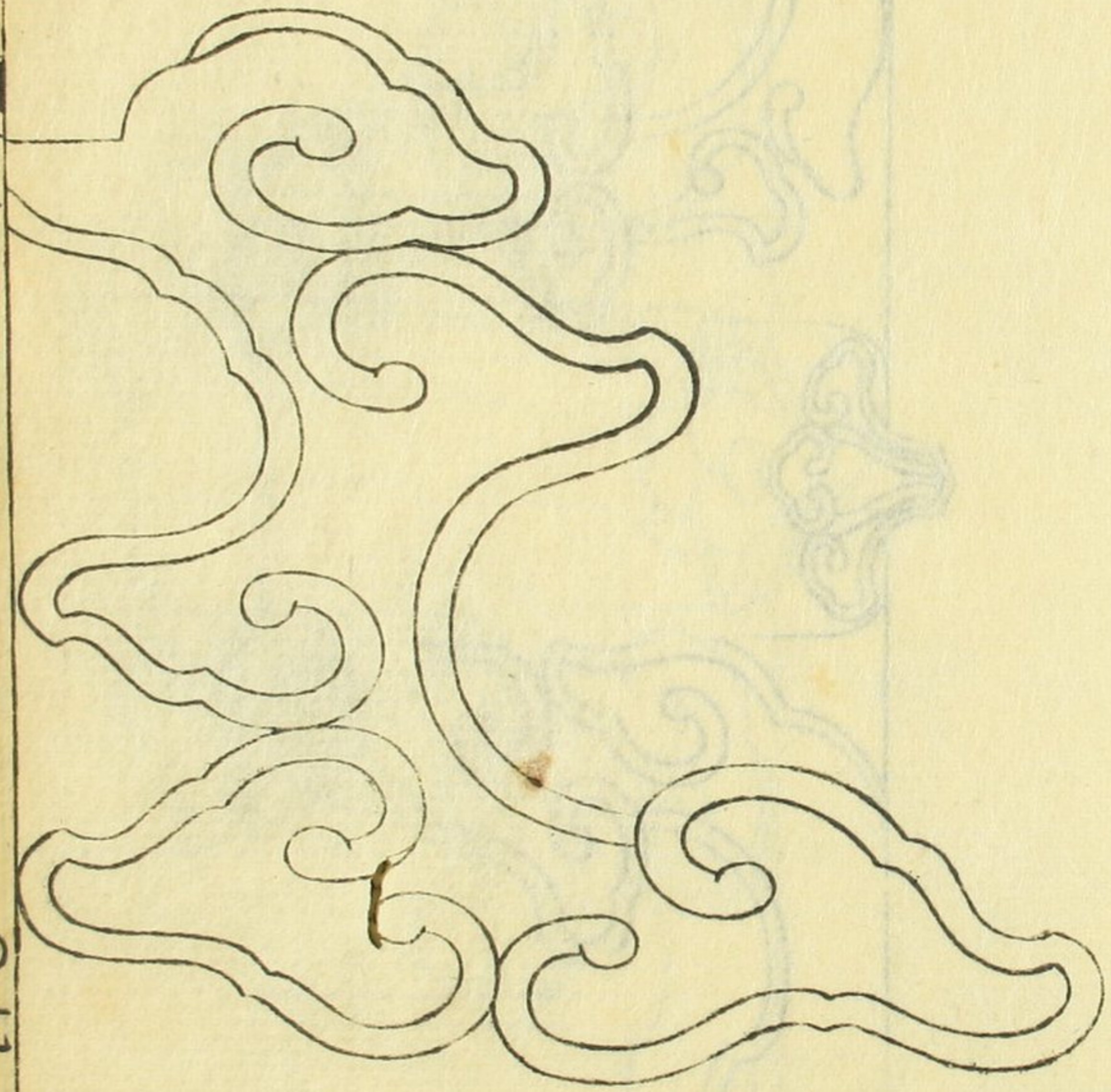


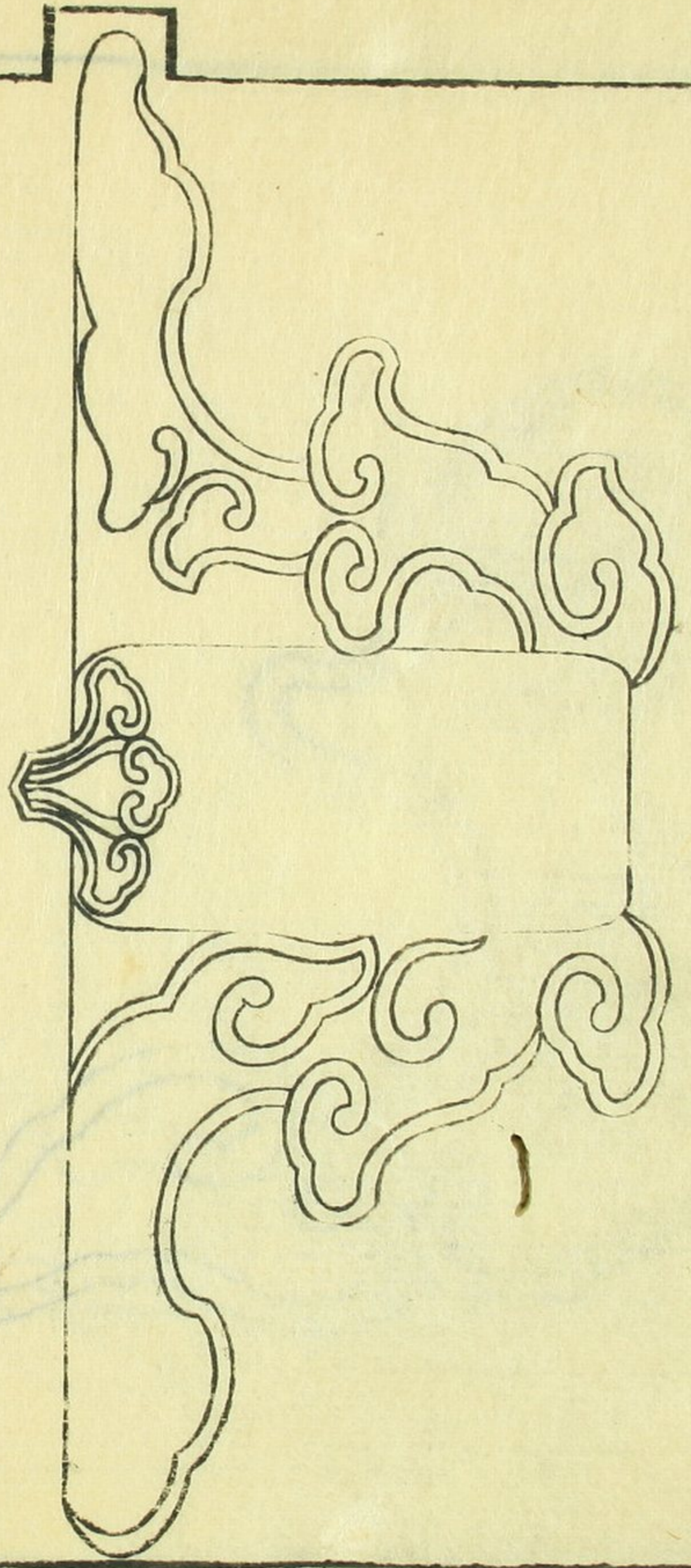
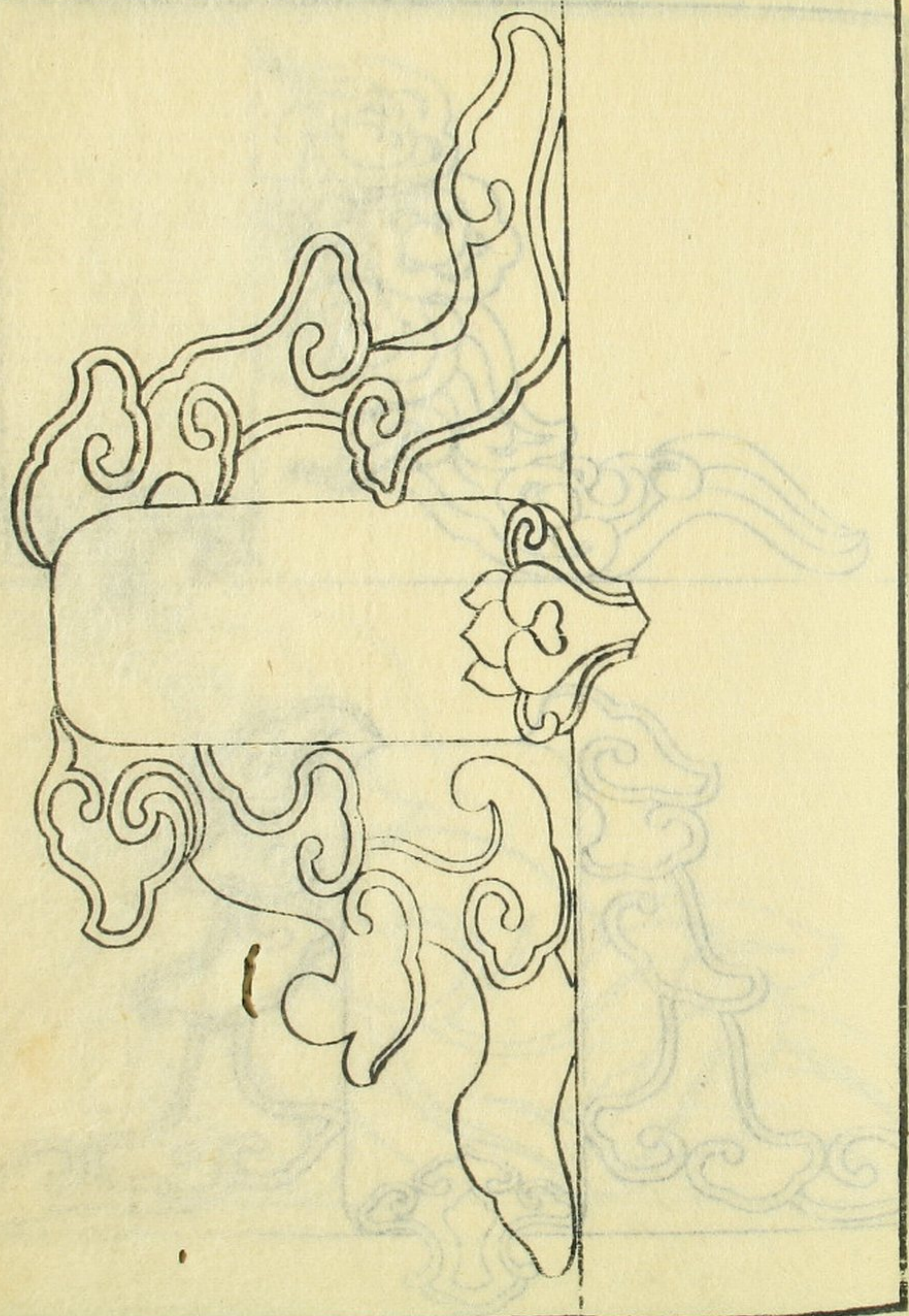
卷五

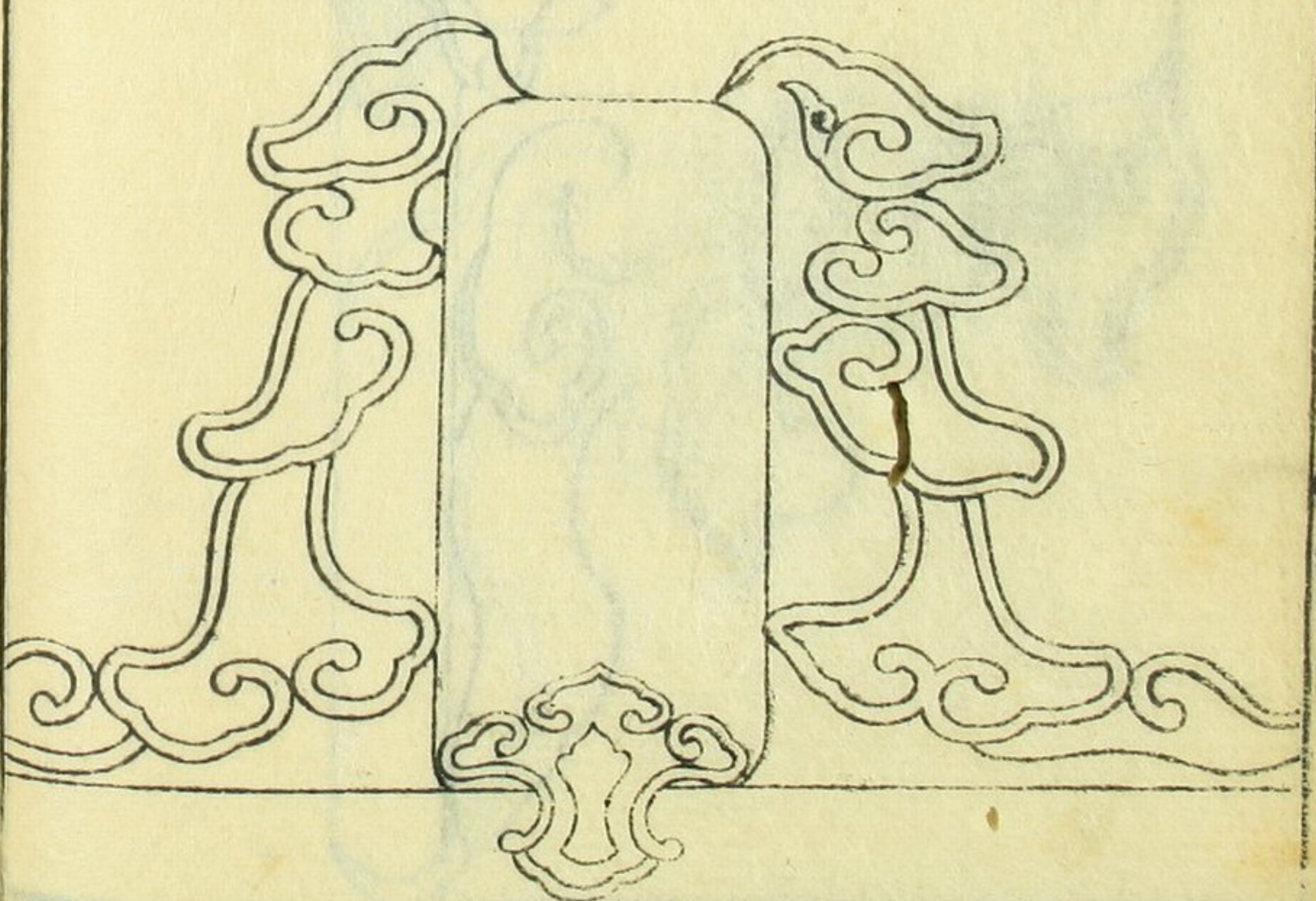
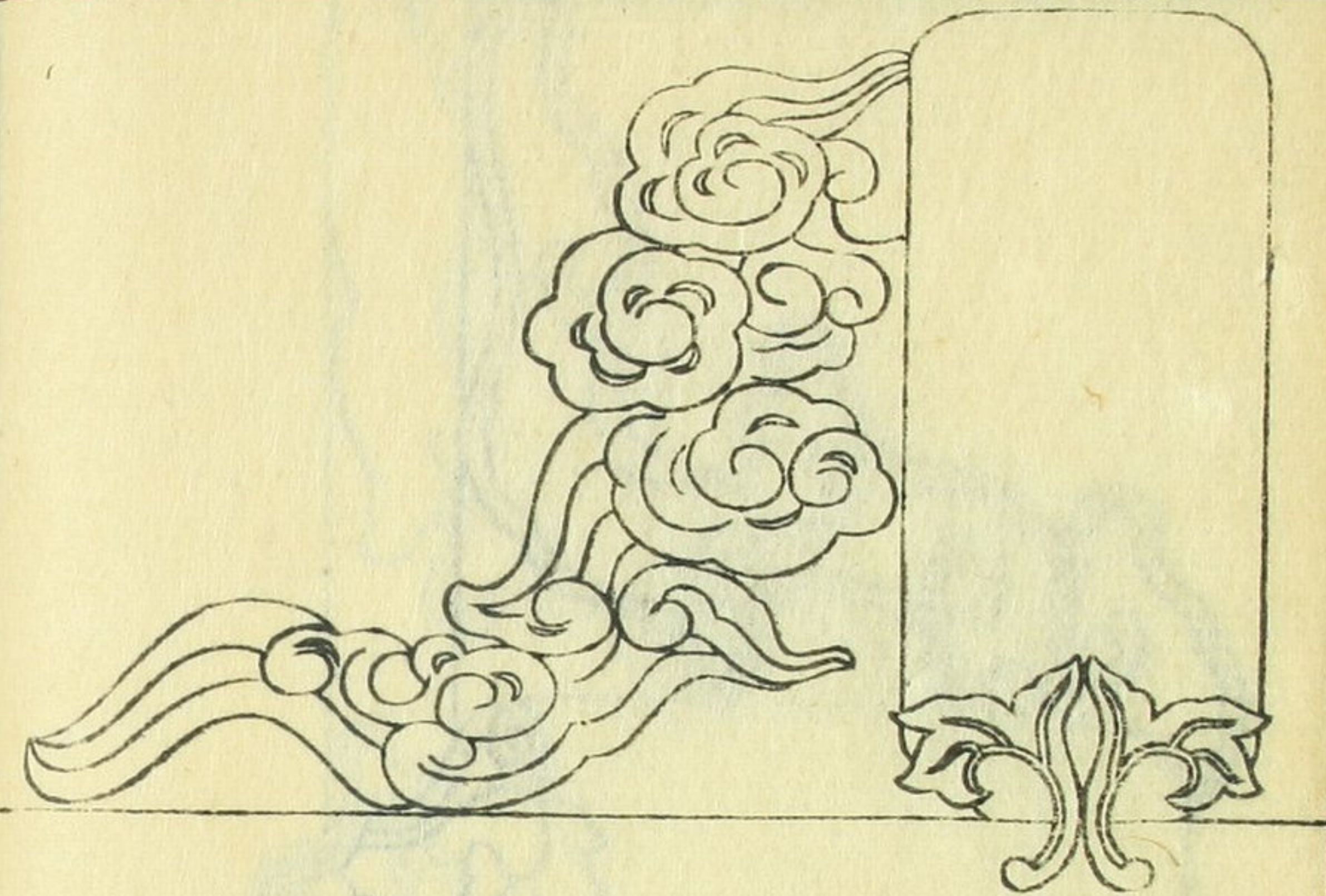
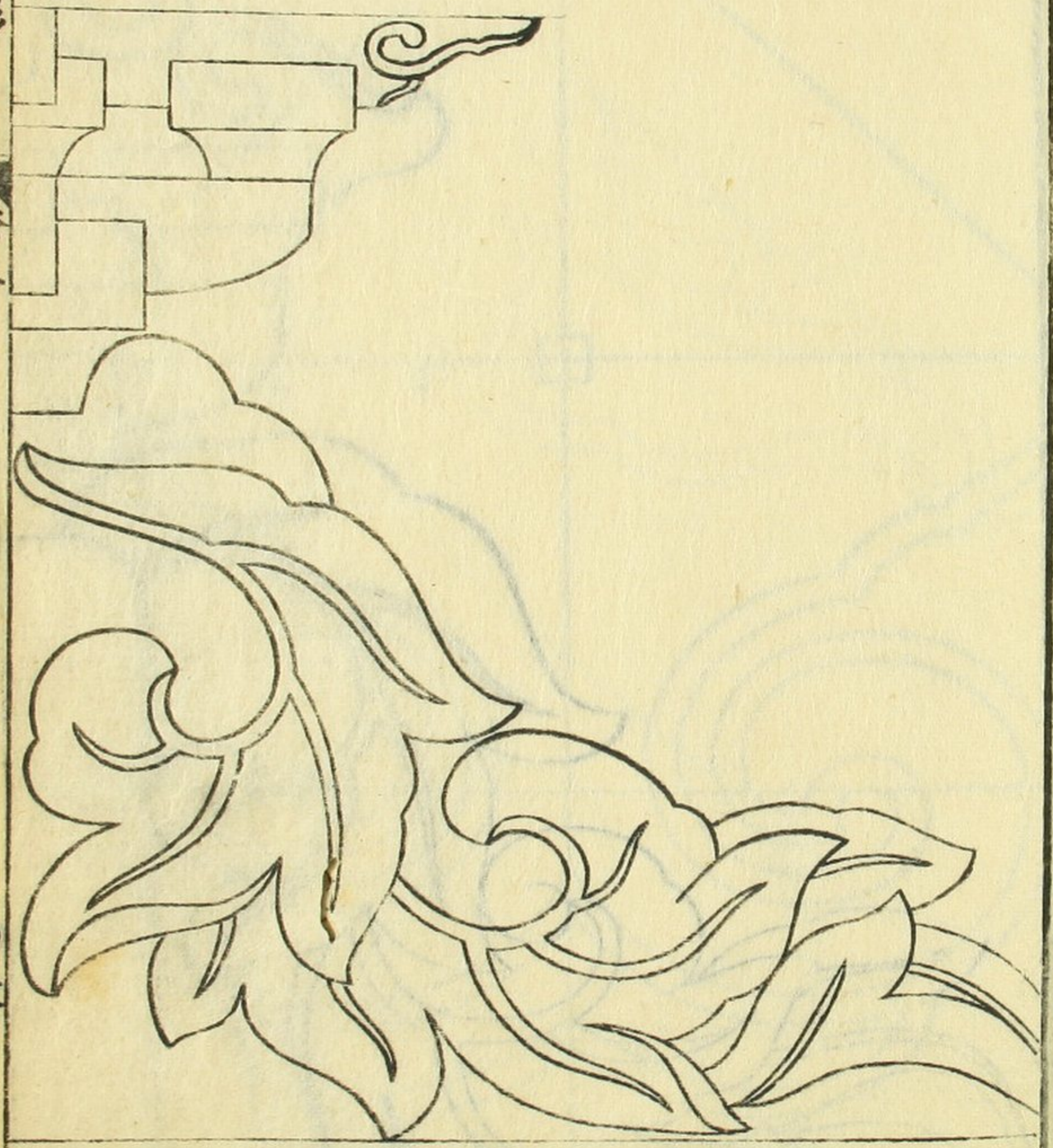


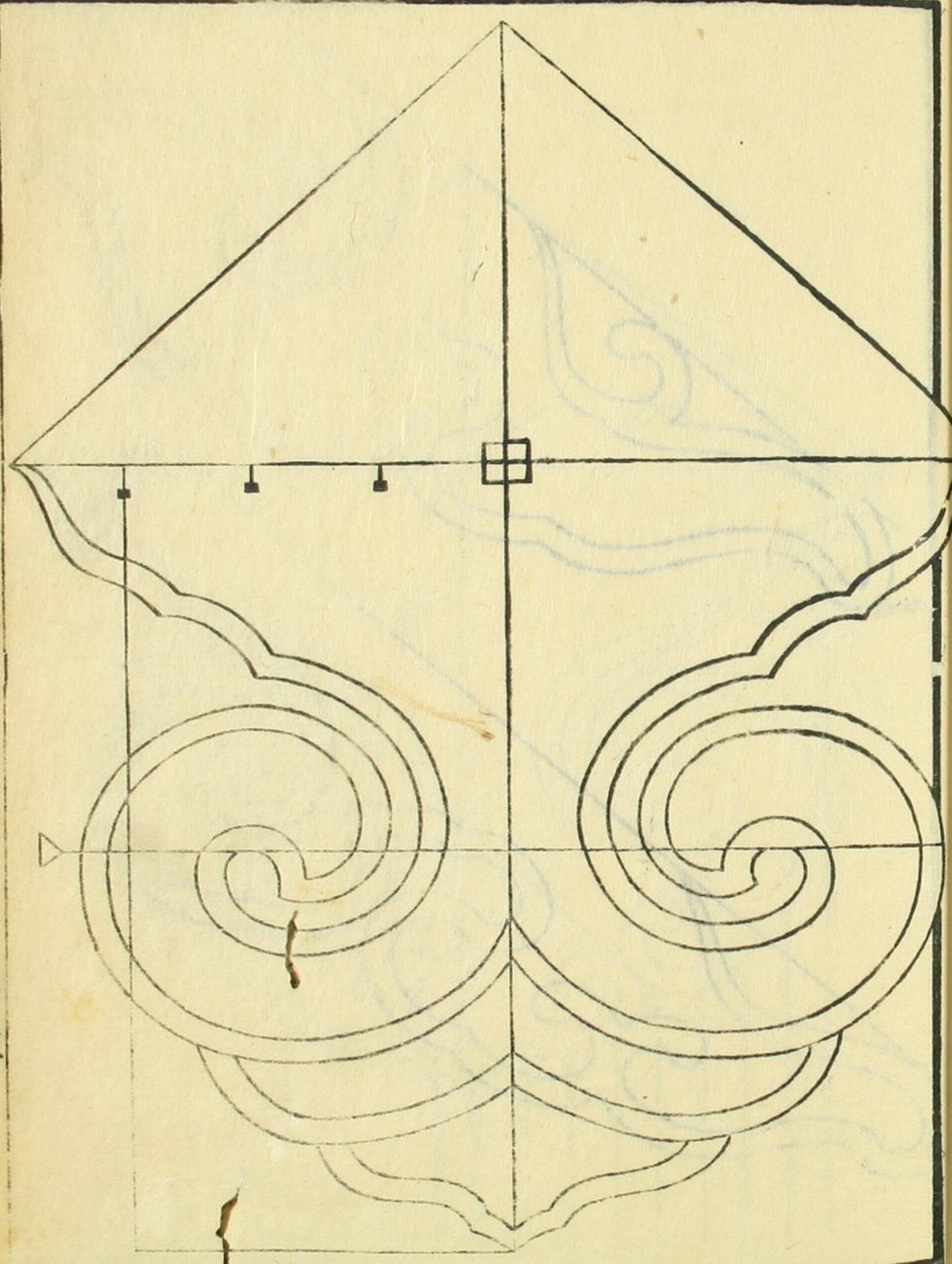


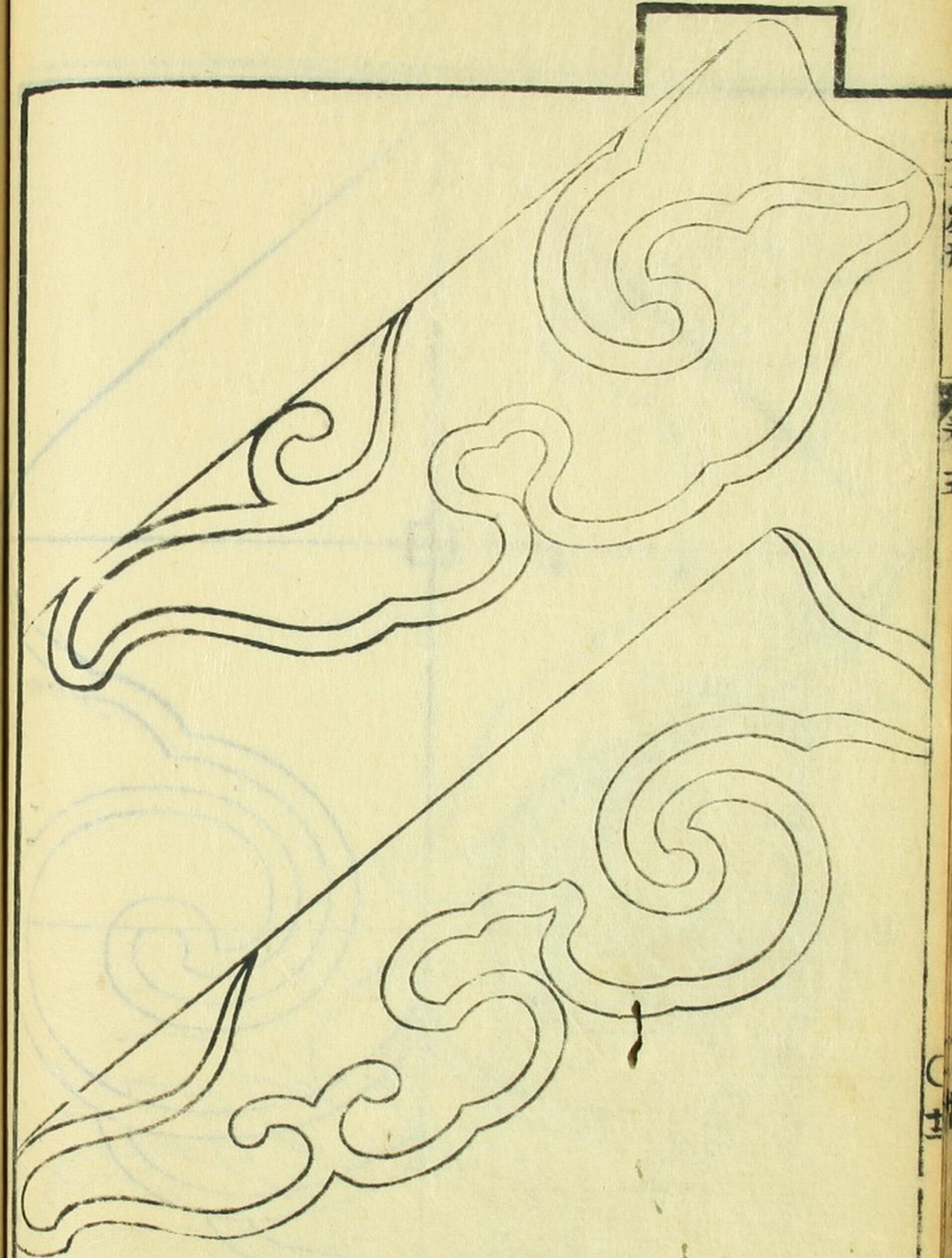
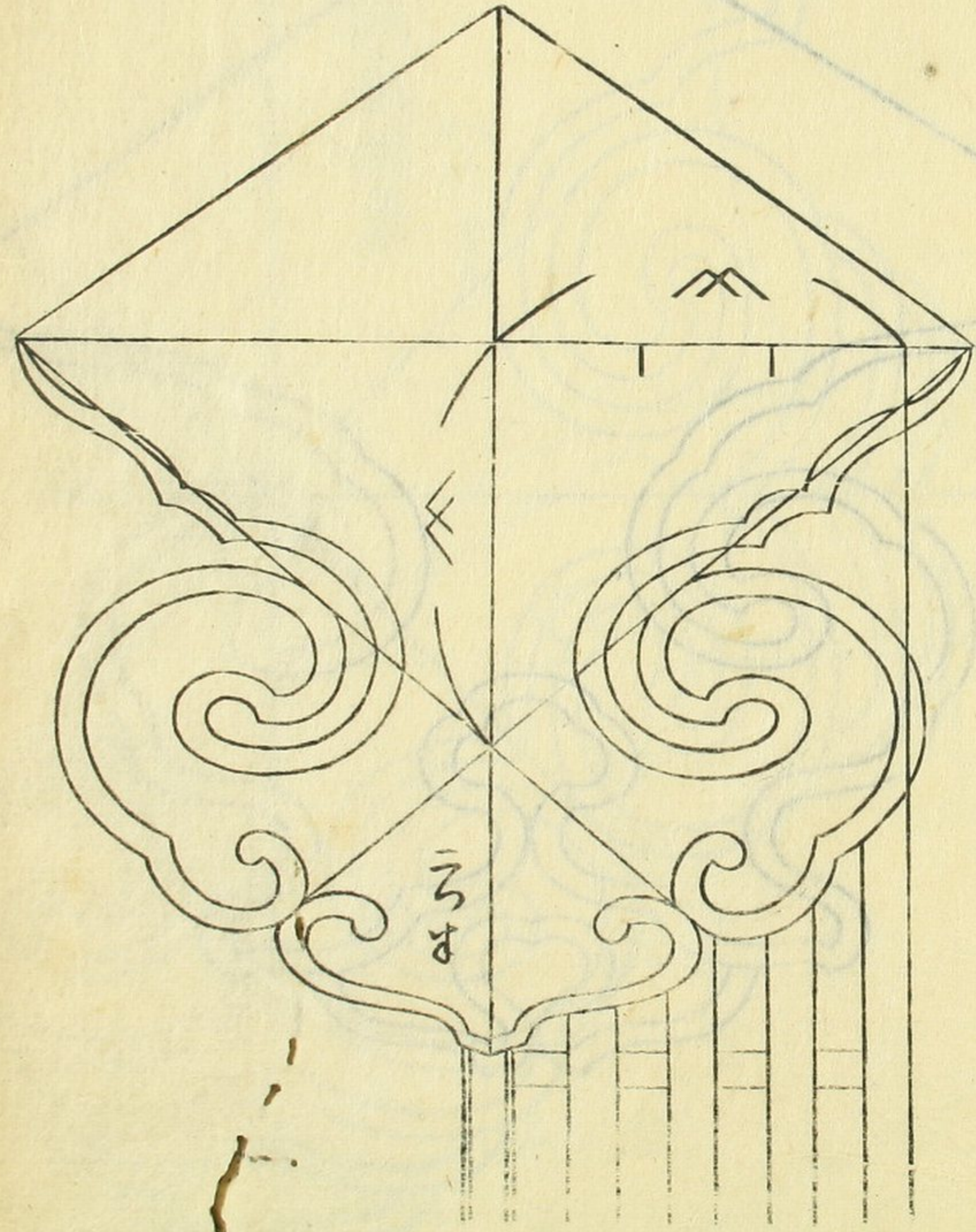


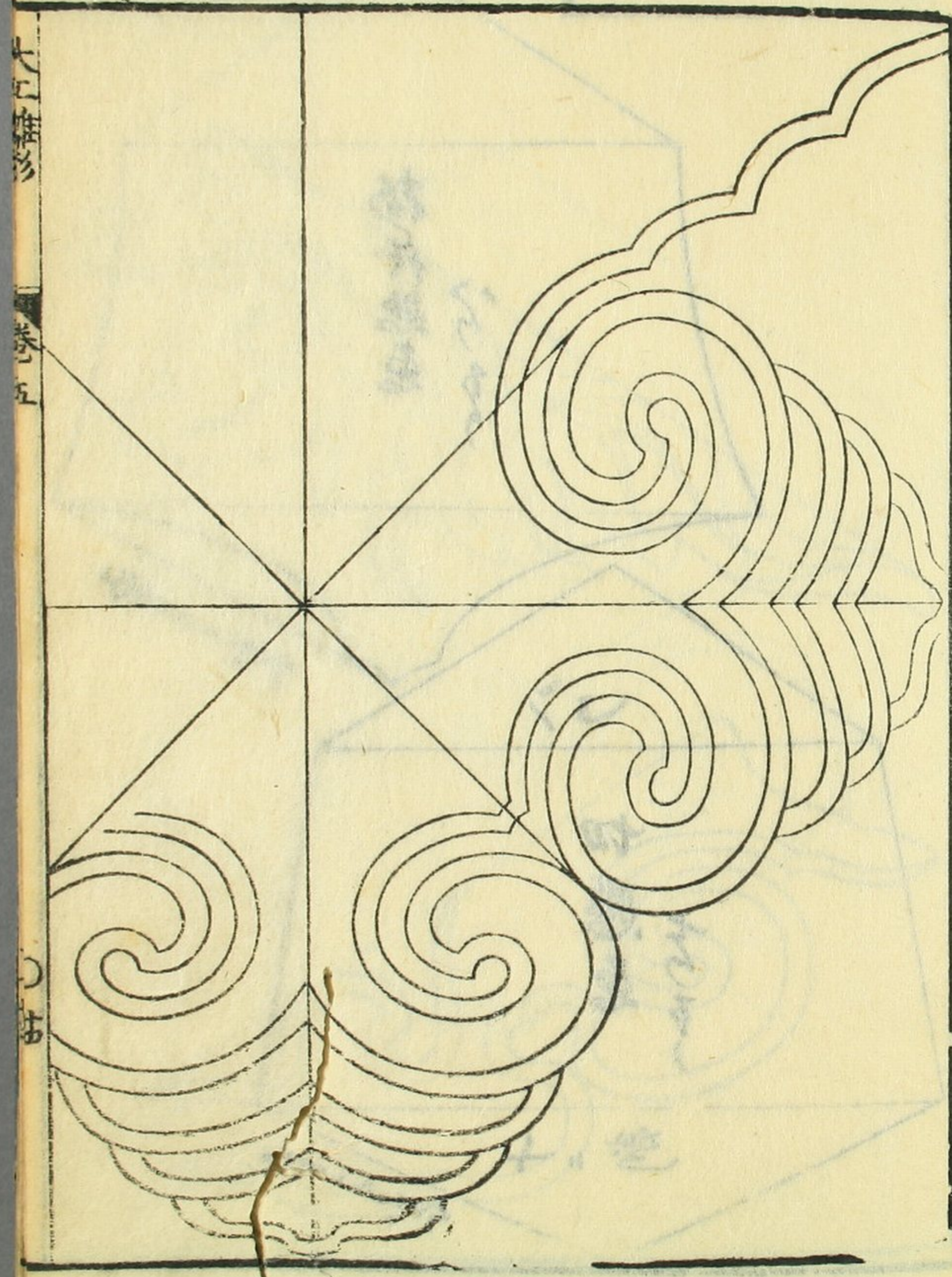












大正

卷五

五

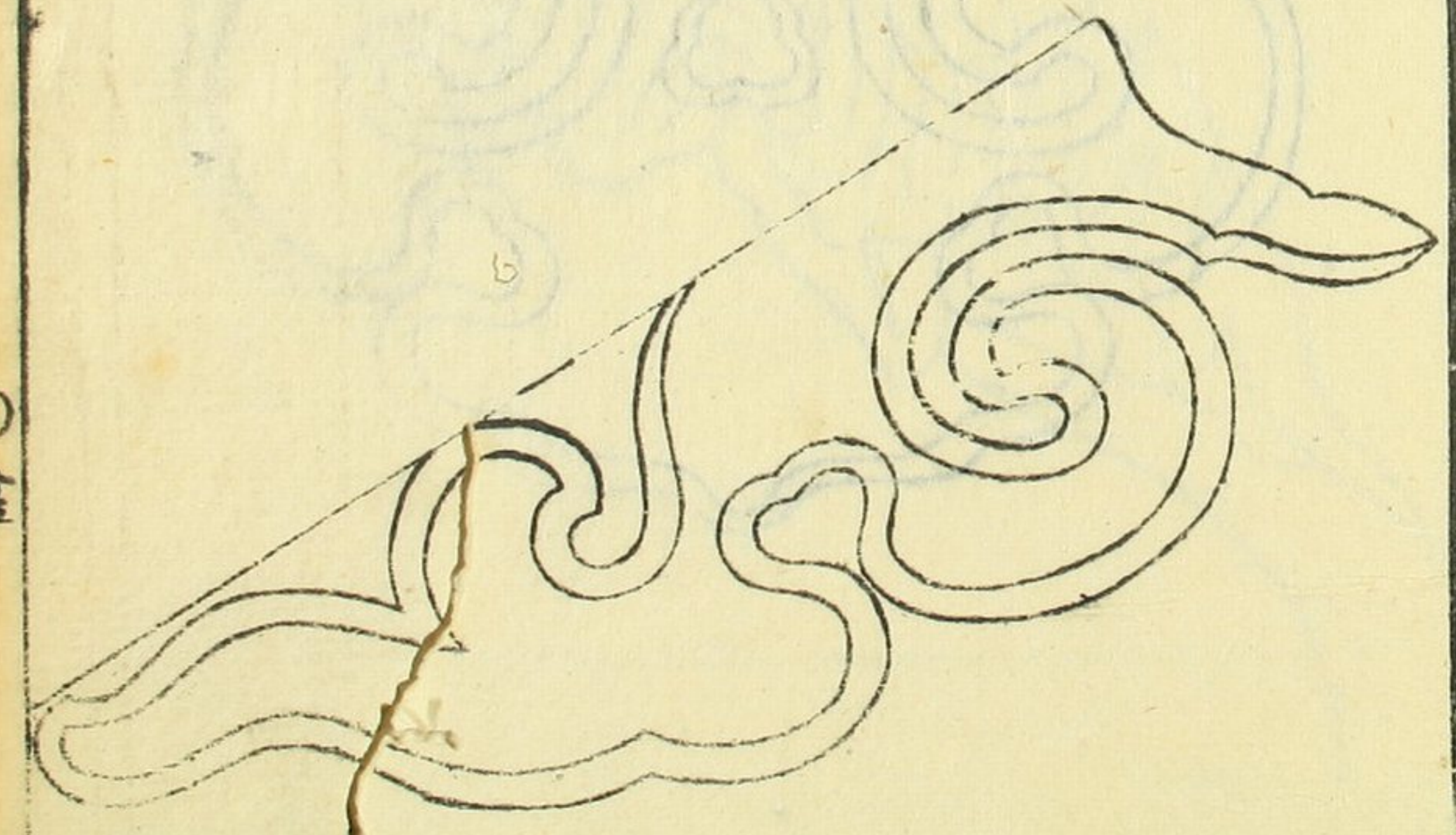
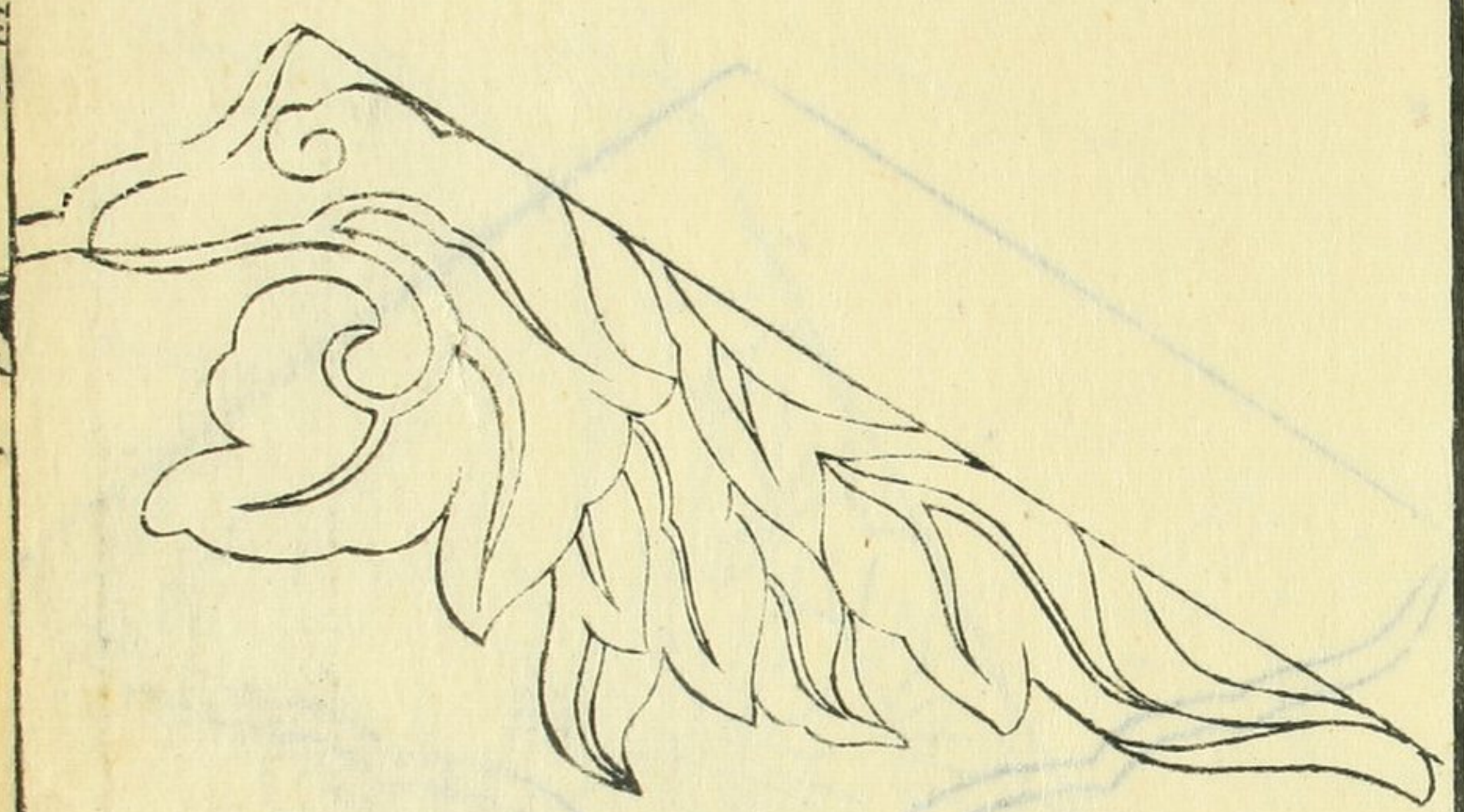


大正

卷五

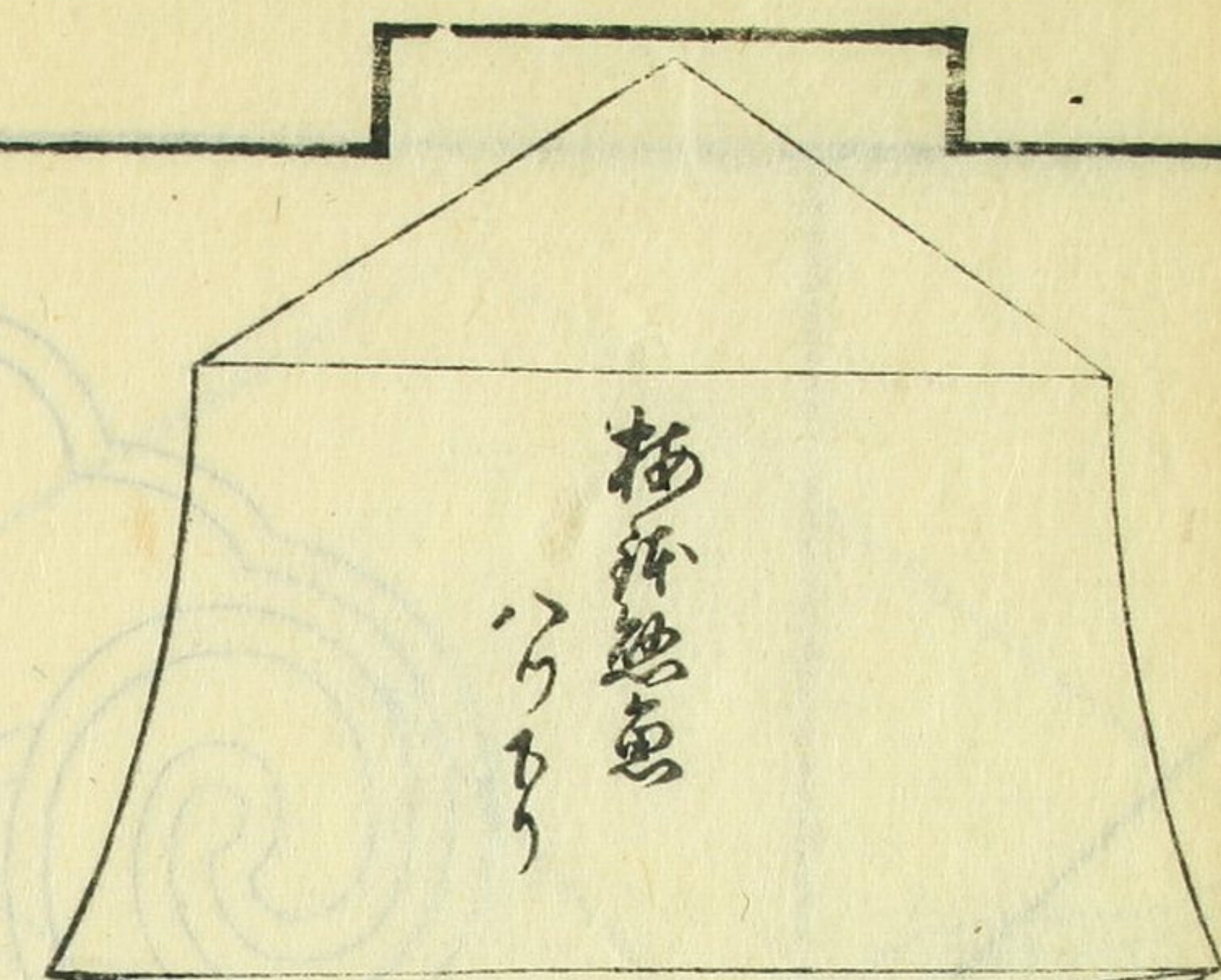
五

二維多

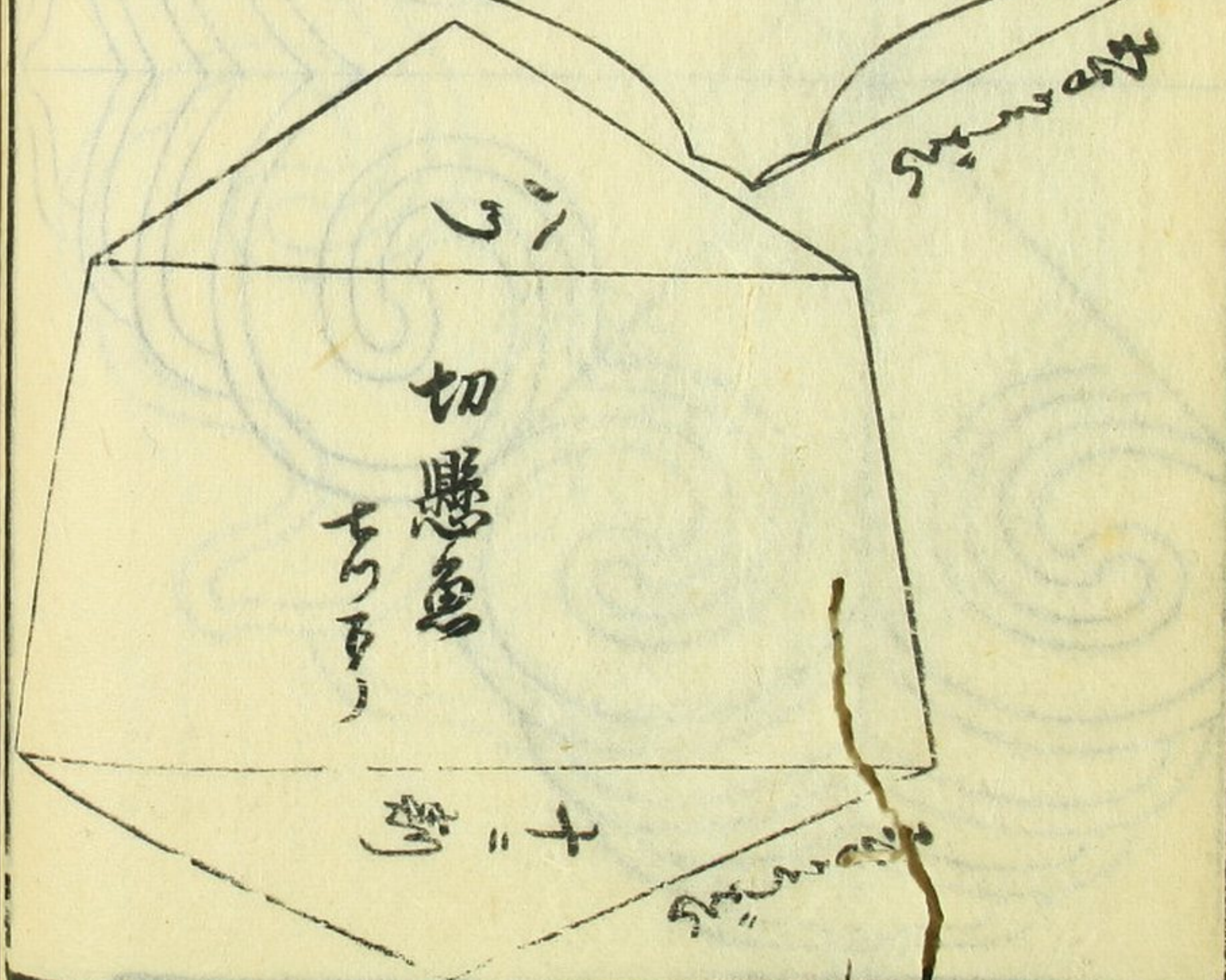


六

六



梅鉢
切懸

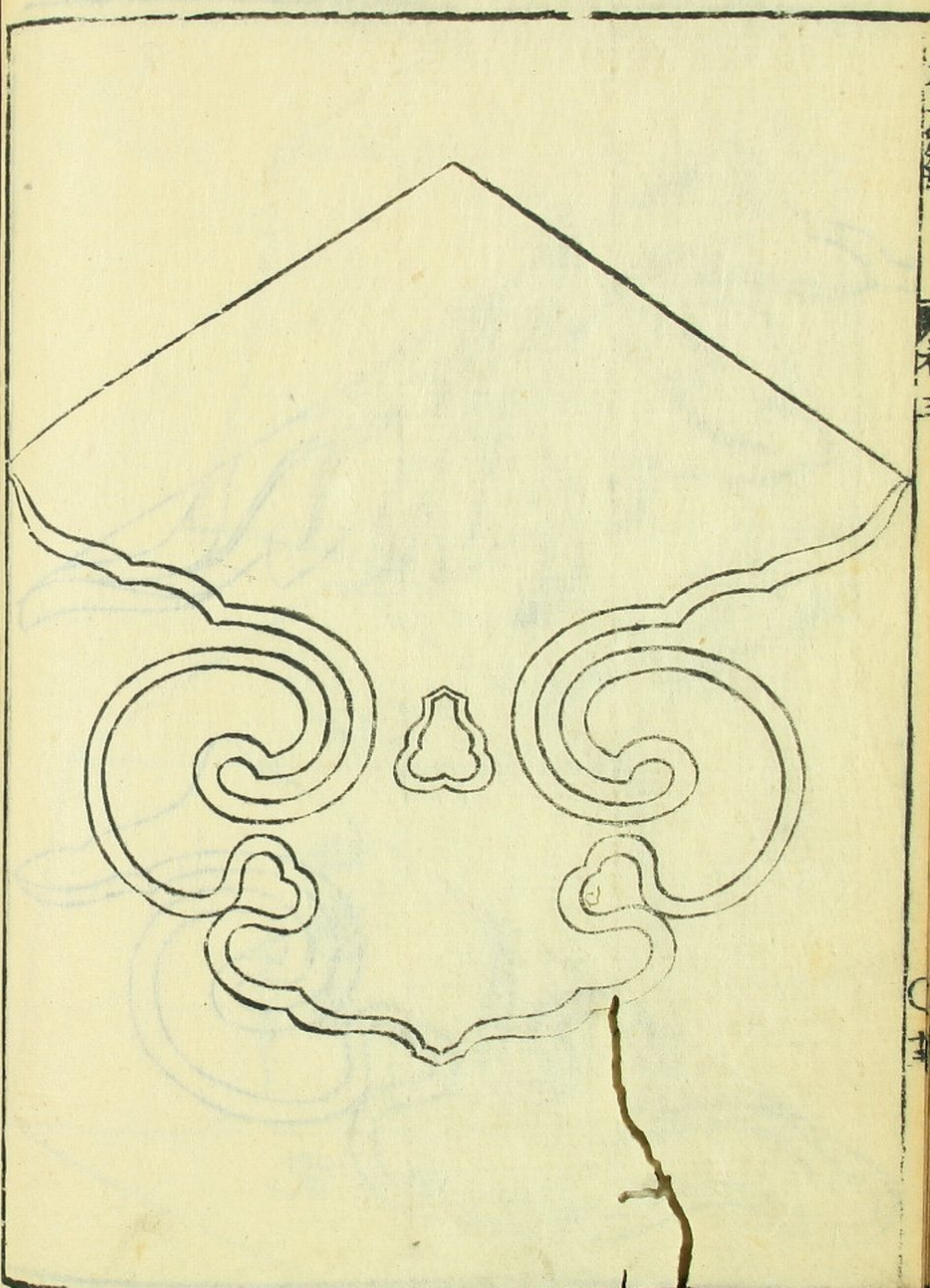


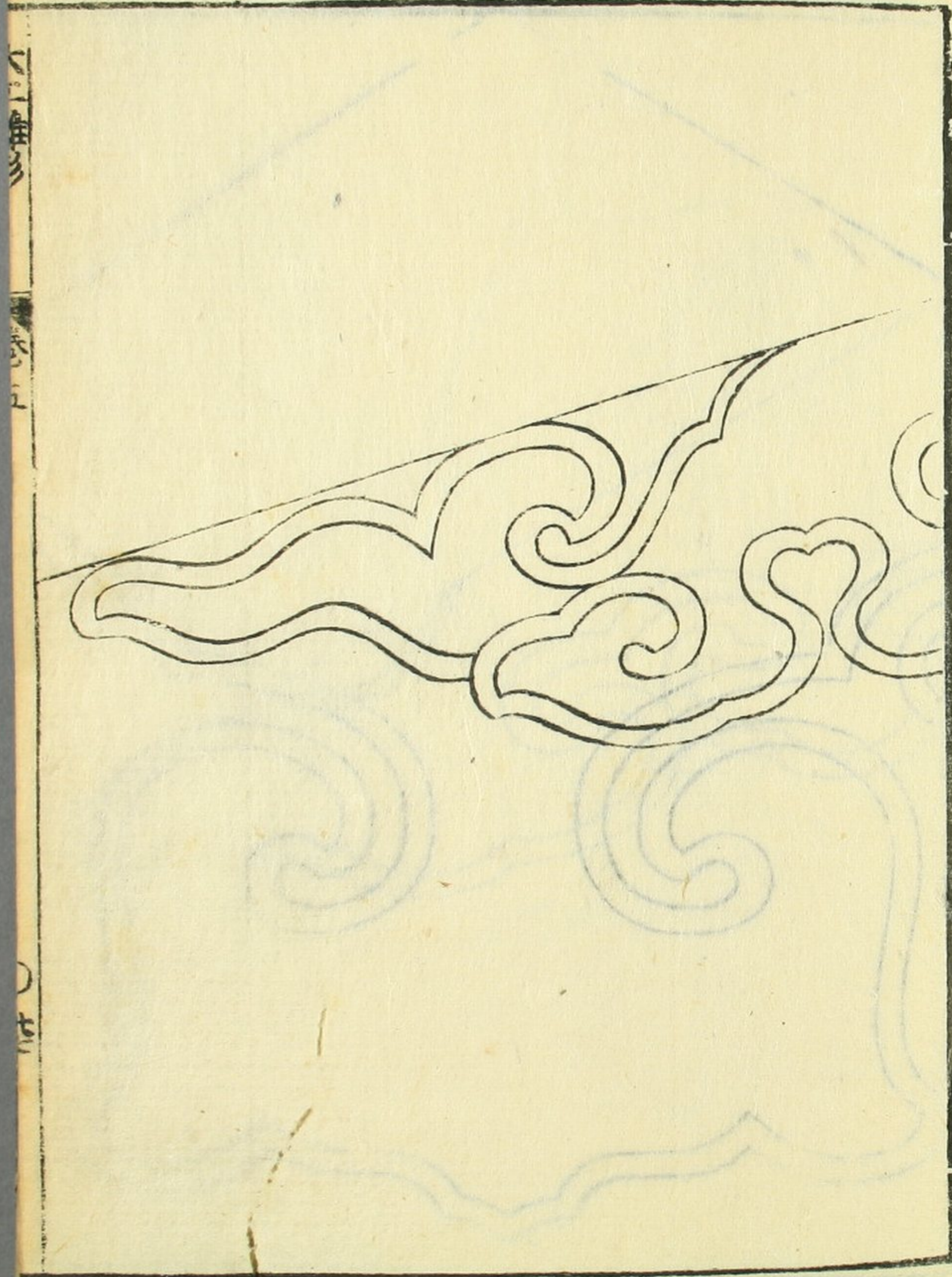
切懸
十

三

十

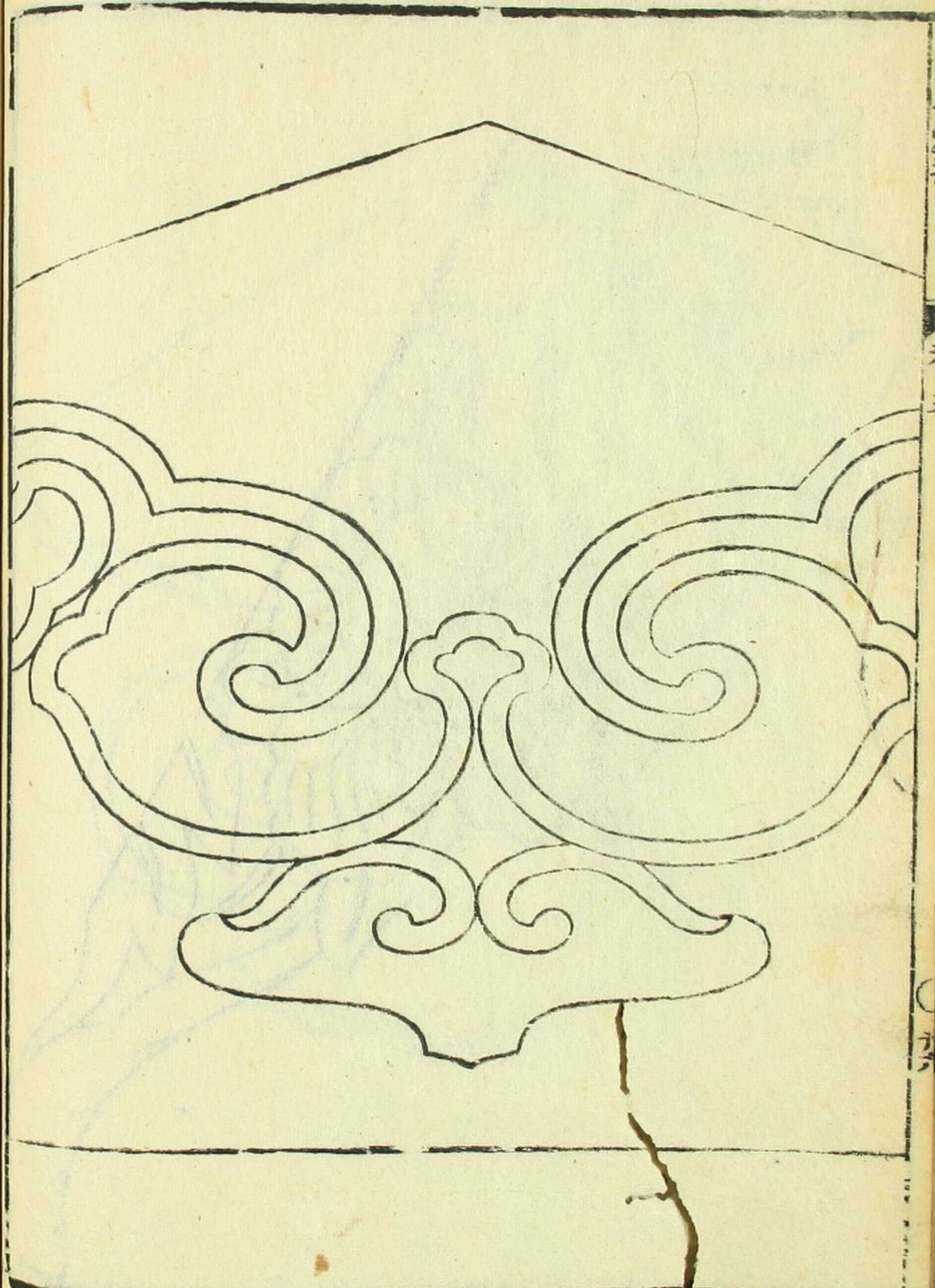
六





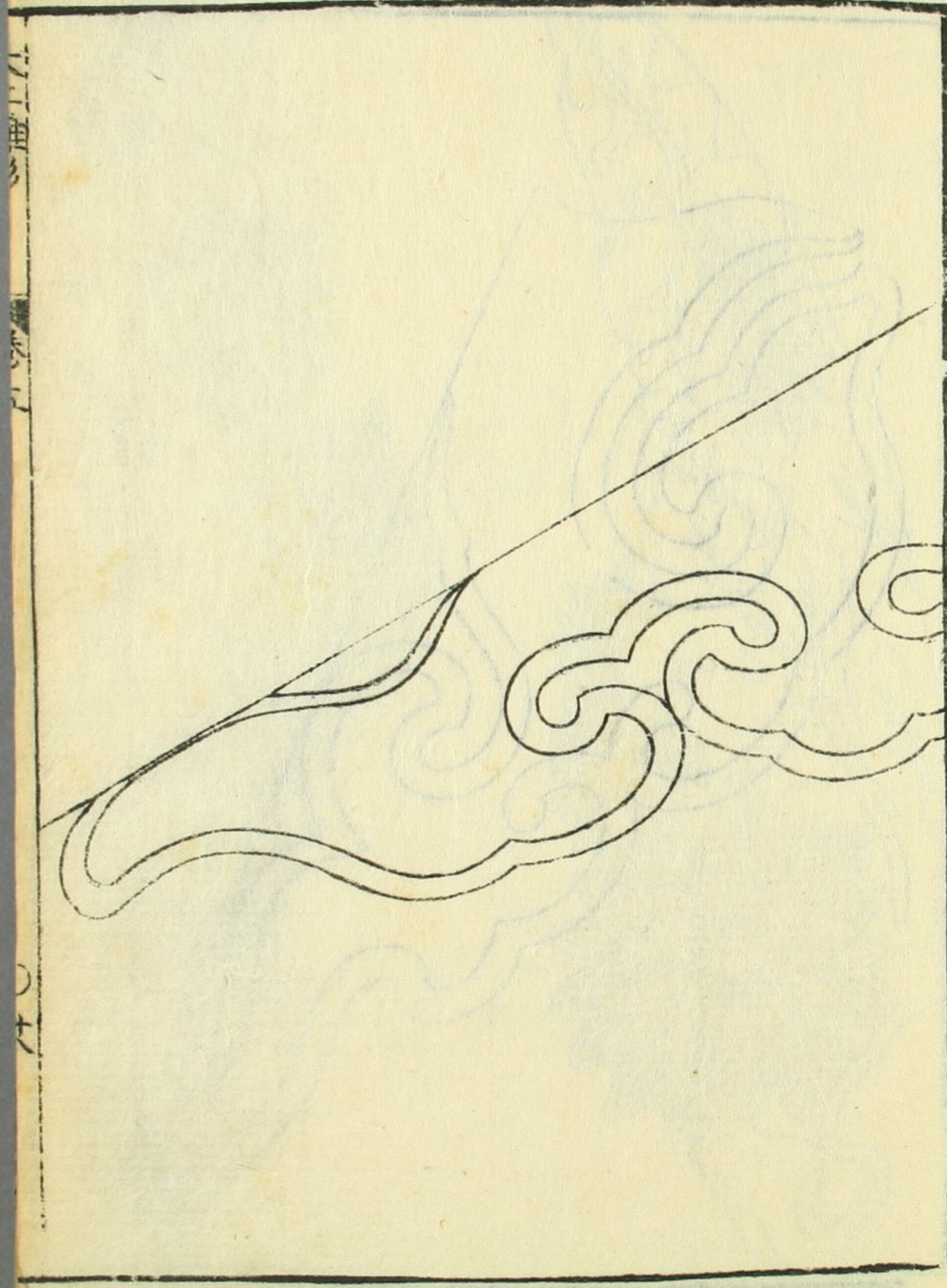
卷五

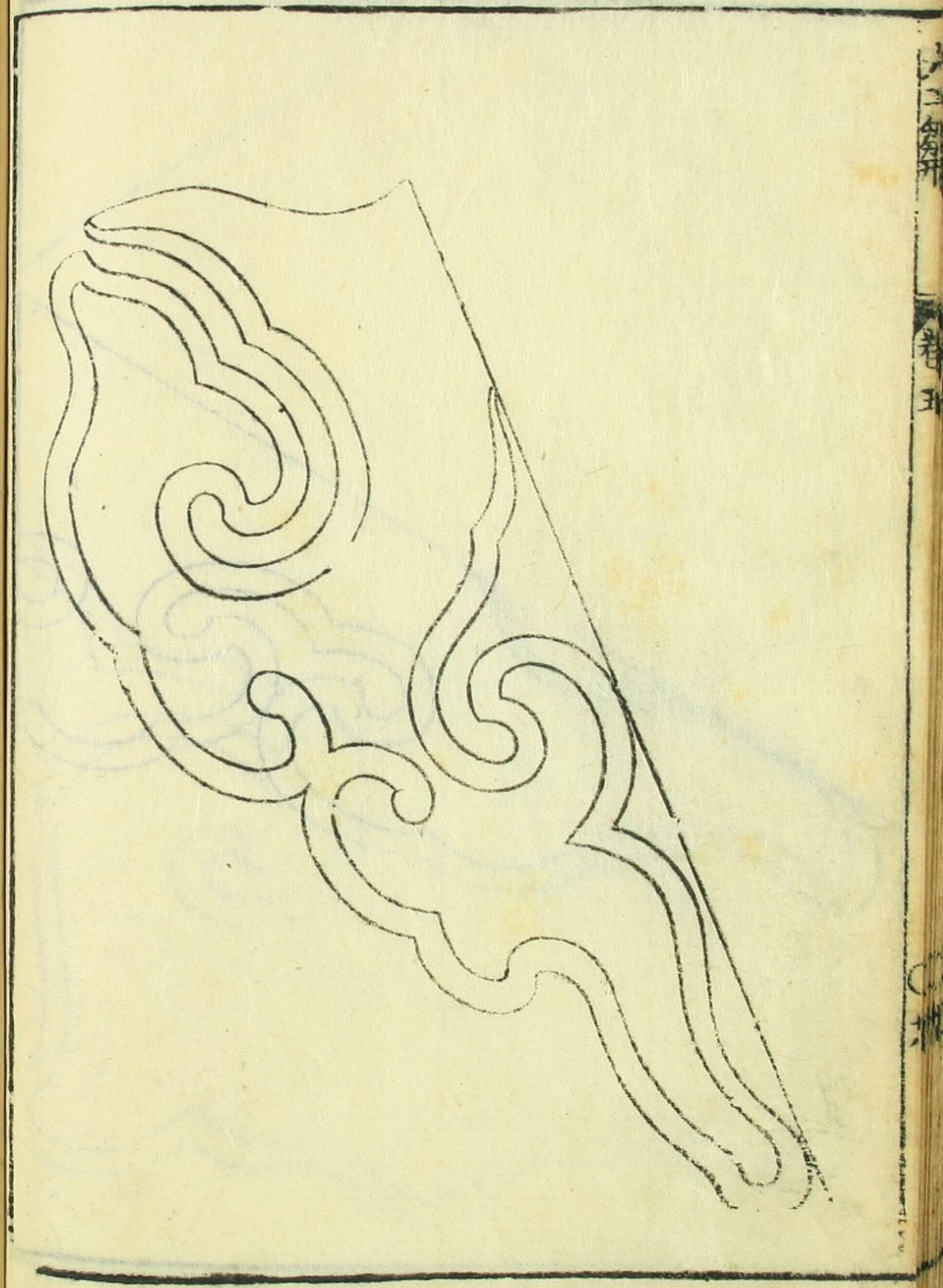
五



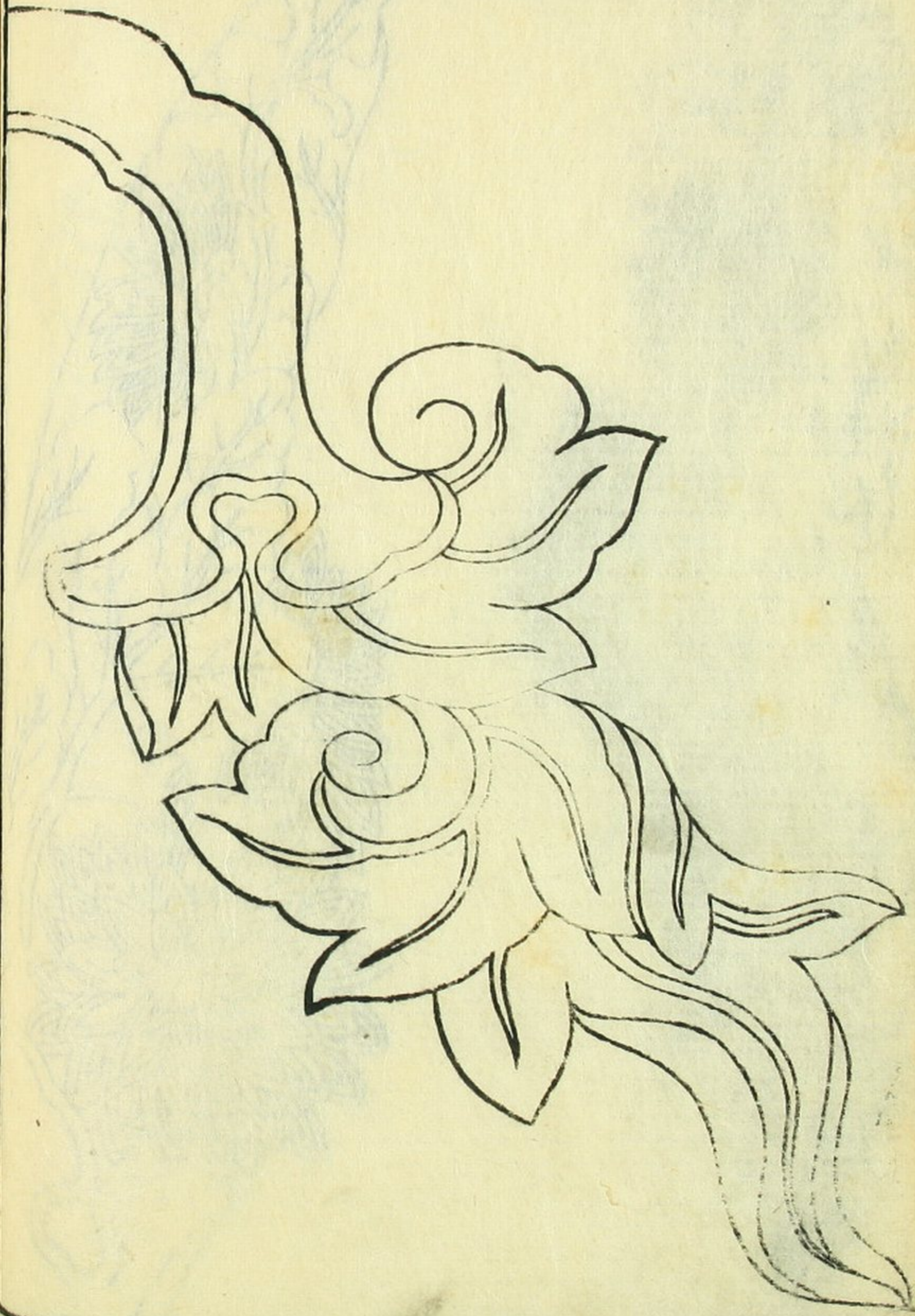
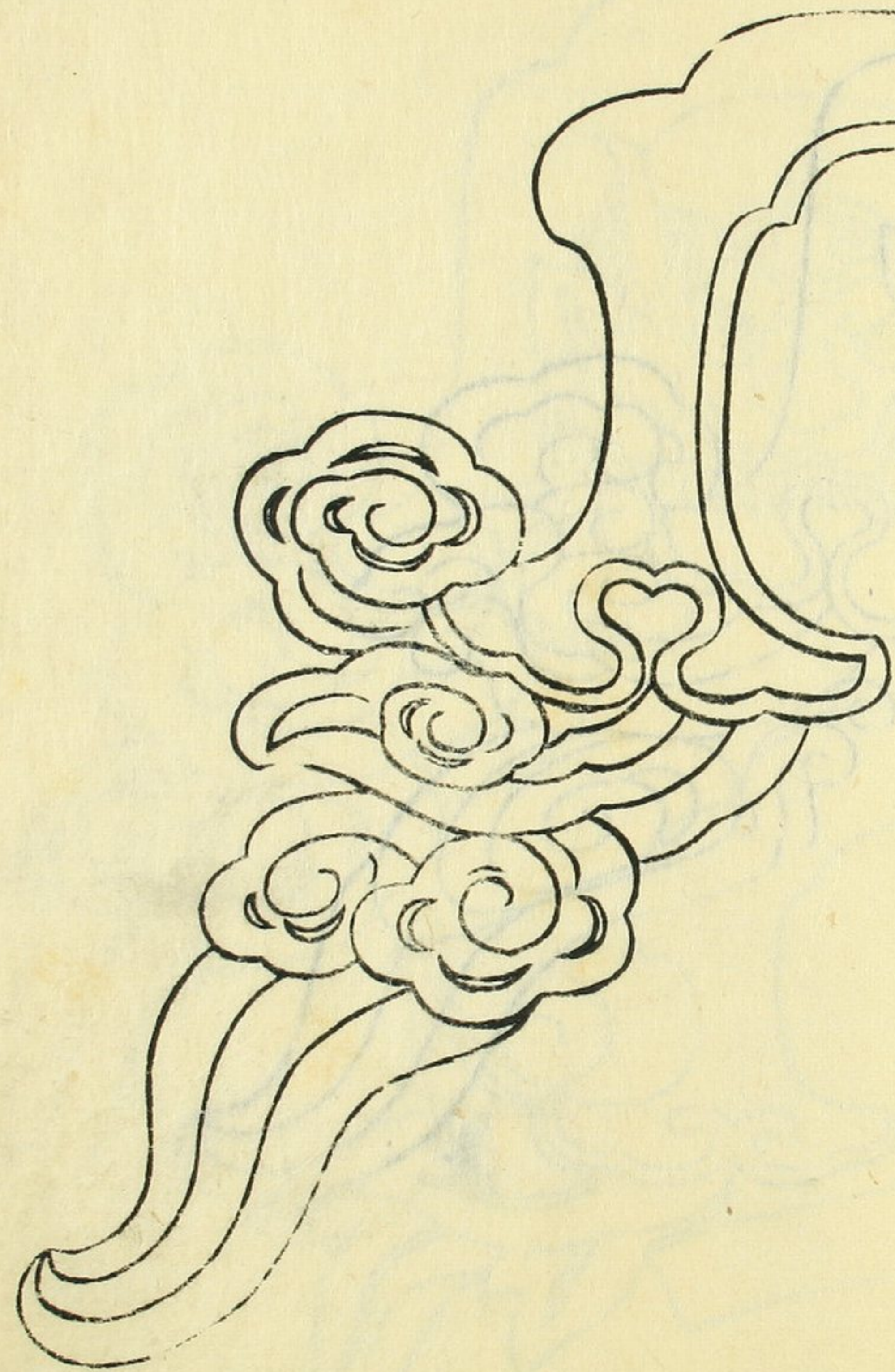
卷五

五





六二
卷五





九龍圖

卷五

五

九龍圖

卷五

五



○大工雛形書目録

江戸日本橋通南一町目

須原屋茂兵衛藏版

大工雛形

横本五冊 同六冊
小坪規矩一冊 增
數寄屋形 小坪規矩

大工手鑑

大本四冊

大工規矩尺集

半紙本三冊

大工秘傳書圖解

半紙本二冊

大工所雛形

大本五冊

匠家極秘傳集

大本二冊

匠家繪樣集

二冊

匠家增補初傳

大本五冊

新撰雛形

大本五冊

大和繪樣集

大形四折

秘軒廻極雛形

大形四折

棟上釘治

全三冊

諸式禮格

常々心得べき的要と悉く記せる

匠家繪樣集

右同作

當世繪樣色々

二冊

匠家極秘傳集

官匠廣丹麩父著

大木二冊

匠家繪樣集

右同作

當世繪樣色々

二冊

番匠町家雛形 廣岡保敬著

大本二冊

四方四面見物仕様総て町家小かきらら堂
塔のへしと此理みて見安らうしむ

極秘六角雛形 赤井恒嘉著

大形一折

角の雛形の内小六角の堂の作り方有りと
り下も割方組物極木等悉く分るる
赤井氏の改二見安らうに致したる事あり

浴説 匠家必用記

全三冊

此書は番匠の宗ふべ祖神行事と神社
佛閣作り方故実棟上の式道具の作り
匠家の要領と致し述べる事あり

彫形欄間圖式 大岡半入著

全三冊

此書は欄間彫物名平の系よりして
虫齧りより草木花葉の陰なり陽あり
の秘伝と悉く子細小着し一切彫物の便
ふかふか事あり

周工雛形 二柳先生著

全一冊

此書を欄間木端の外印紐根付小至
彫刻一式の図と著し鳥獸草木の悉く其生
と寫し又彫刻の真草行と刻る古人の誤り
紅紙に流家肝要の秘術と申し古今無雙
彫物の手本あり

當世の彫物生技集 叔

全二冊

堂塔彫物生技集

全二冊

作事 番匠往來

全一冊

地中柱より屋作造作并に間席の
と集り短歌の体小綴り且仕様法文圖を
此書小掲げて初心小便利あり

匠家矩術要解

折本一冊

此書は矩術の書教あり雖夫と理と述
るる見事故に今教理と推し解義は
矩術と施し木匠初学の一助と以て
定則此書をせり

右書く介諸品致く方やい下も其
河く師と公と本割書術乃介
くく一々い能く習為志る一

寶曆九年己卯秋

東京日本橋町

書林

須原屋茂玄博經板

彫工

依留屋玄博

